



SPECIFICATIONS FOR COMPETITION EQUIPMENT

FIS競技用品規格(SCE)



スキージャンプ・ノルディックコンバインド

全日本競技用品規格(SCE)

EDITION 01 JULY 2026



JAPAN

SKI JUMPING COMMITTEE

INTERNATIONAL SKI FEDERATION
SKI ASSOCIATION OF JAPAN
SKI JUMPING COMMITTEE



FIS競技用品規格 クロスカントリー、スキージャンプ、ノルディックコンバインド
2026/2027版 (2026年7月1日FIS HPアップ版)

A. 定義
一般原則

FIS理事会は、名前、呼称、商標、ロゴ、またはその他の識別記号の使用が、FISルールおよびガイドラインに準拠しているかどうかを決定する、唯一の権限となる。

また、FIS はこれらのルールとガイドラインの精神および目的が確実に尊重されるよう、さらなる解釈および/もしくは補足する権利を留保する。

1. 競技用品

ここでいう「競技用品」とは、技術的機能を果たす衣類や用具を含む、競技スキーでアスリートが使用するすべての用具を意味する。全ての競技用品が一つの機能単位を形成し、これに関連して次の点に注意をすること:

- a) 安全の原則
- b) 公平性の原則

1.1 有効なメーカー

ここでいう「有効なメーカー」とは、みずから競技用品を製造する企業、および/または慣習的な下請けプロセスを通じて、みずからの責任の下で競技用品の製造を効果的に制御、および管理し、競技用品を市場のエンドユーザーに効率的に提供するメーカーを指す。FIS から要求された場合、メーカーは、商用マーキングがメーカーの識別(本定義は次項を参照)として受け入れられるための条件として、小売レベルでの商業活動、すなわち製造プロセス、小売活動、さらには、ブランドと関連する用具を結び付ける、マーケティング支出の管理を含め、関連する競技用品の市場における製造活動などの文書証拠を提供するものとする。

1.2 メーカーの識別

「メーカーの識別」とは、特定の競技用品が製造され、市場に商業的に提供される有効なメーカーの商号、ブランド、ロゴ、またはその他の名称を意味する。

メーカーの識別は、スポーツ用品ブランドである必要があり、メーカーの識別は主に競技用品に使用され、基本的に非スポーツ用品には使用されない、さらに/または競技用品と関連性の無い、別の事業分野で使用されている類似品、または同一の商品と混同されてはならない。

1.3 競技用具

競技用具とは、競技中に不可欠な機能を果たすが、実際の競技とは分離できる用具を指す。

例: スキー板、ビンディング、ブーツ、ポール、ウェア、ヘルメット、スキーゴーグル

1.4 追加装備(付属品)

競技の追加装備(付属品)とは、競技用品の技術的機能に影響を及ぼし、認められた固定手段によって用具に直接取り付けられるコンポーネント(部品)または用具を指す。このような付属品は競技中に重要な機能を果たさない。

例: パラブラック、プラスチック製チップ・カバー、追加ウェイト、バックプロテクター

1.5 付属機器

付属機器とは、必須の機能を果たさず、追加装備(付属品)の項目に該当しない、競技用機器のコンポーネント(部品)を指す。

例: 測定器

2. 競技用品の新規開発の承認手順

ICR第222.4条は次のように規定される:

次シーズンの新規開発は、遅くとも5月1日までに提出されなければならない。初年度において、新規開発は次のシーズンに向けて暫定的にのみ承認され、次の競技シーズンの前に最終的に承認されなければならない。

2.1 対象者

- a) イノベーションのメーカーまたは販売業者

- b) ナショナルスキー連盟
- c) 競技用品委員会のメンバー

各 FIS 委員会の FIS 技術代表者は、競技用品委員会に新規開発の申請書を提出する資格がある。メーカー、販売業者、およびナショナルスキー連盟は、その品目が新規開発にあたるのか、既存製品のさらなる開発であるのかを決定するために、それぞれの FIS 技術委員会に、事前に申請書を提出しなければならない。

- 2.2 申請項目
競技スキーの用具として使用される重要な新規開発は、承認申請ができる。医学的、法律的、および安全性の観点から考慮して、新規開発が FIS の「競技用品規格」に適合するかどうかを決定するのは、競技用品委員会の単独の責任である。ただし、委員会は、これらのガイドラインの決定に従い、競技スポーツで使用される用具の品目に関する申請の削除をいつでも手配することができる。
- 2.3 試作品・サンプル
申請書にはイノベーションの詳細な説明を含めること。試作品またはサンプルは申請書と一緒に提出しなければならない。科学専門家による関連レポートや、トレーナーや参加者による体験レポートも提出すること。
- 2.4 競技用品委員会の決定
競技用品委員会は、次の会議でこれらの申請を扱うこととする。提示されたアイテムが有効な競技用品規格に完全に準拠していると委員会が判断した場合、この決定は関連する決定次項に記録される。
委員会が、競技スポーツにおける FIS の競技用品規格の関連原則、および決定に従い、そのイノベーションが受け入れられる可能性がある、という結論に達した場合、そのイノベーションは、次のシーズン期間にテストのために暫定的に承認されることができる。しかしながら、この承認は条件付きで承認されることもある。公平性を理由に冬季オリンピックや世界選手権などの特定の競技会については、例外が認められる場合がある。
- ただし、競技用品委員会は、仮承認前に次の措置を講じることもできる。これらは個別に、または一緒に対処が可能。
- a) FIS 技術委員会から、専門家による報告書や技術データなど、さらなる情報を要求する。
 - b) FIS 技術委員会からの反応を求める。これらの意見は書面で提出し、次の要素を考慮する必要がある：
 1. 新規開発の有用性と必要性に関する説明
 2. 新規開発の安全性に関する意見
 3. 新規開発を受け入れる際に、公平性の原則が保証されるという保証
 - c) 競技用品委員会自体を通じて、専門家による報告とさらなる情報を求める。新規開発品が FIS 競技用品規格の原則に適合しない場合、申請自体を通じて、または手続き中に、当該新規開発品の競技スポーツにおける使用は禁止される。これは、アイテムの試用期間中に、新規開発が FIS 競技用品規格の原則に、適合していないと委員会が判断する状況が、生じた場合も同様である。この場合、仮承認は即時に取り消されるものとする。
- 2.5 FIS 理事会への提案
競技用品規格の変更は、競技用品委員会を通じてのみ、FIS 理事会に提案することができる。これは、委員会自体からの発意によって、あるいはナショナルスキー連盟、または技術委員会のいずれかによる、競技用品委員会への申請を通して行われる。
- B. クロスカントリースキー競技用品

別紙

C. スキージャンプ競技用品

1. ジャンプスキー(板)

1.1 定義

ジャンプスキーは、ジャンプ台での使用を目的として特別に製造されたものである。その構造は、スキージャンプの要件に適合する。

1.2 制限

1.2.1 形体

1.2.1.1 スキー板の長さ

体重と身長の関係による($BMI = \text{体重(kg)} / \text{身長(m)}^2$)。(添付資料参照)
ただし、スキーの長さの上限は、BMIの最小値が男女で21であることに基づき、選手の身長 $\times 145\%$ となる。
BMI が上記の最低値未満の選手には、BMI 0.125毎 のグレーディング表が適用される。

スキーの長さを測定する際は、端数処理(四捨五入)を行う。

249.4 cm = 249 cm

249.5 cm = 250 cm

スキーの長さは、スキー本体に明記されなければならない。

スキー長測定器具: Sola Cito(クラスI)

例外: ユース大会の場合、スキーの長さの上限は、身長 $\times 140\%$ に制限される(BMI 計算式は適用されない)。

1.2.1.1.1 体重コントロール

体重コントロールは、ヘルメット、ゴーグル、グローブ、スキージャンプブーツ、ウェッジ、ジャンプスーツ、ビブスを着用せず、個人の下着のみの着用で行う。

1.2.1.2 横幅(添付資料参照)

A からB を通ってC までの湾曲が、スキーのサイドカットの形状を示す。この湾曲は、両サイドとも同一で、スキーのセンターラインに対し左右対称でなければならない。最大としてA からB、およびB からC をつなぐラインは、直線に見えるようにする。

バランス地点の滑走面の幅は、95mm 以上、105mm 以下とする。

エッジは、スキーの全長に沿って、滑走面及び上面に対し90 度の角度を作らなければならない。

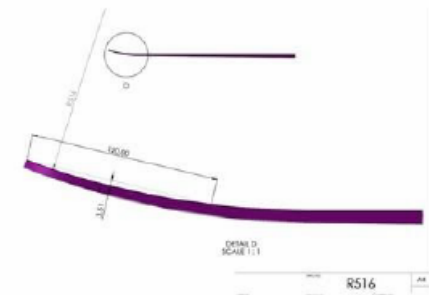
上端から下端までの丸みは2mm 以下でなければならない。

スキー先端とテールの幅の上記の測定値の差は、5mm 以下でなければならない。

1.2.1.3 ショベルの外形(輪郭)、長さ、高さ

スキーの先端は、左右対称で中央部に中心があり、かつスキーの長さの57%部分でスキーを面(サーフィス)に押し付けた状態で(スキー全体面を平らな面に置かなければならない)、面(サーフィス)までの最小距離40mm が守られる限り、個々に変更することができる。

スキーの先端はカーブしてなければならない。カーブの厚さは、スキーの先端から120mm以内最低3.5mmでなければならない。



1.2.1.4 テールの外形

スケッチに基づく。(別紙(原文5326ページ)を参照)

高さは10mm 以下。

1.2.1.5 滑走面

滑走面はフラットでなければならないが、縦方向に細かいベースストラクチャーを入れることができる。溝を除いて、スキーベース全体に何らかの形をつけることはできない。溝は複数つけることができるが、全ての溝の測定表面積の合計は、スキーの最小幅の50%を超えてはならない。また1本の溝の幅は10mm以下でなければならない。ベース素材は、ポリエチレンでなければならない。

1.2.1.6 上面(トップ サーフィス)

スキーの上面は、スキー幅全体にわたり滑らかで、平らで真つぐでなければならない。スキーの表面は、目に見える突起、こぶ、へこみがなく、平らで規則正しいものでなければならない。

1.2.2 形状とフレックス(柔軟性)

先端に空気力学的カバーをつけること、またサイドにスタビライザー形式でフィンをつけることは認められない。飛行中に好ましい空気力学的フレックスを生み出すデザインは認められない。それ以外の場合、フレックスの強度に関する制限はない。スキーの上面は、滑らかで平らでなければならない。

1.2.3 質量

スキー板にビンディングシステムおよびバランスウェイトを装着した状態のスキー1本あたりの重量は、その長さに応じた最小重量に加え、ビンディングシステム分の0.2kg何も取り付けていない状態で、その長さに適合する最小重量を満たさなければならない。

(長さをcm表示した数字 = 重量をkg表示した数字)

例として250cm = 2.50kg + 0.2kg、
262cm = 2.62kg + 0.2kg)。

重心のバランスをとるために使用する鉛のウェイトは考慮されない(1.2.6.2条参照)。スキーの重量は、ビンディング(ビンディングシステム全体——スキーウエッジ及びネジを含むフロントとバックパーツ)を含んで計測できる。この場合、スキーの重量は、重さ最低200gのビンディングを加えたスキーの重量(スキーの長さ一致する最低限の重量)を示さなければならない。

1.2.4 構造

1.2.4.1 スキー構成要素

トーションボックス: 素材及び寸法に関する制限なし。
エッジ: 1.2.1.2条参照。

1.2.5 耐久性

ジャンプスキーのビンディング取り付け部分のねじ保持強度は1600Nでなければならない。

1.2.6 追加用品

1.2.6.1 次に当てはまる追加用品は認められない:

- a) 外部エネルギーを利用するもの(例:ヒーター、化学エネルギー蓄積装置、電池、機械的補助等)。
- b) 他の選手に不利となるような競技の外部条件の変化を引き起こすもの、または引き起こす意図があるもの(例:ピステや雪に変化を加える等)。
- c) 意図された使用目的で使用した際、使用者やその他の人の負傷のリスクを高めるもの。

1.2.6.2 追加ウェイト

重心のバランスをとるための追加ウェイトを認める。これらをスキーの表面にスコッチテープ(セロテープ)または類似品で貼り付ける場合、テープの総面積は45cm²を超えてはならない。

1.2.7 スキージャンプ用スキーのFIS規格適合証明ラベル(2027/28シーズンより)

要件の履行は、標準化された適合ラベルによって証明されなければならない。このラベルは、スキーの上面(ビンディング位置の後方)に、競技中も明確に視認できる位置に剥がれないように貼る。適合ラベルは以下の通り。

ラベルには以下の文言を記載するものとする。

「FIS規格スキージャンプ2027 に適合 (Conforms to FIS Specifications SJ 2027)」
「スキーの長さ … (Ski length ……」」

さらに、シリアル番号 (Serial number) を記載することが可能。

メーカーに適用されるラベルは、現行規格に適合していなければならない。

この適合ラベルは、当該スキーがFISのすべての要件を満たしていることをメーカーが保証することを証明する。



2. ジャンプスキーのビンディング

2.1 定義

スキージャンプのセーフティビンディングは、負荷制限装置として機能する。すなわち、これらの装置は、滑走中に発生する特定の要求を許容できる限界まで伝達し、この限界を超えると、しっかりと固定していた状態からスキーをリリースする。

2.2 ビンディングシステム

ビンディングシステムは以下のパーツで構成される。

- フロントビンディングユニット
- ビンディングウェッジ
- リアビンディングユニット
- セーフティストラップユニット

2.3 制限

テイクオフの補助として、あらゆる種類の外部エネルギーを生成する追加装置を禁止する。

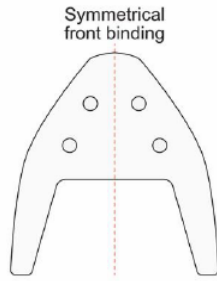
ビンディングシステム全体を、スキー板に平らに取り付けなければならない。
ビンディングシステムのいかなる部分も、スキー板の端(エッジ)からはみ出してはいけない。

ビンディングシステム一式は、スキージャンプブーツがスキー板に軸に沿って左右対称に固定され、滑走方向に平行に取り付けなければならない。ビンディングはスキーに平らに取り付けなければならない。ビンディングの前部(フロントパーツ)の全ての取り付けネジは、ビンディングのロックパーツの前になければならない。ジャンプブーツの前部がビンディングの前部に固定された後は、ブーツはスキーの表面に平行になるように固定されなければならない。ブーツソールのヒールウェッジの輪郭は、通常生産されている状態で、ジャンプスキーのサイドウォールをはみ出してはならない。ビンディングシステム全体、すなわち、ビンディングのスキーウエッジ及びネジを含むフロントとバックパーツの重量は最低200グラム。

2.3.1 フロントビンディングユニット

フロントビンディングユニットは、中心線に沿って左右対称に設計しなければならない。

左右対称の
フロントビンディング



フロントビンディングのロック部分の領域において、開口部の高さは最大11mmを超えてはならない。

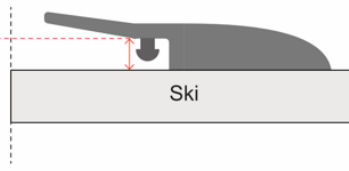
正面図

Front view



側面図

Side view



2.2 2.3.1.1 フロントビンディングの取り付け

ビンディングは、スキーのフロント部分がスキー全長の57%以下となるように取り付けなければならない。スキーの先端からシューズキャップ(レザー部分)までを測定する。この57%という数値は、センチメートル単位に四捨五入(または端数処理)される。

測定メジャーをスキーの10cmの位置に押し当てる。

測定器具: Sola Cito Class I

フロントビンディングユニットの取り付けネジはすべて、ロック部分よりも前方に配置しなければならない。

2.4.3.2 ビンディングウェッジ

インランポジション改善のためにビンディングウェッジを認める。

ブーツソール及びビンディングウェッジ全体の高さは、50mm以下でなければならない。

ビンディングウェッジの高さは最大20mmを超えてはならず、リアビンディングユニットの手前で終わらなければならない。

ビンディングウェッジは、ブーツのヒールがウェッジと完全に接触した状態を保てなくなるような取り付け方はできない。

2.3.3 リアビンディングユニット

リアビンディングユニットは、スキーに対するブーツの動きを制限する。例えば、湾曲したロッドや角度のついたクリップを用いて、スキーをよりフラットな位置に保てるような構造にできる。

2.3.4 セーフティストラップユニット

ロッカーシステム付きのビンディングを使用する場合を除き、ブーツとビンディング(またはスキー)を接続するセーフティストラップの使用が義務付けられる。

2.3.5 スキーストッパー

スキーストッパーは、ブーツがビンディングから外れた際スキー板の滑り落ちを防ぎスピードを弱めるメカニズムである。

2.4 トランスポンダー及びモーションセンサー

ライブで届きデータが記録されるトランスポンダー及びモーションセンサーが、公式データ及びスコアリングプロバイダーにより提供され、FISに承認される。これらは、いくつかの大会の公式練習、競技会において選手によりビンディングの前部分に装

着されなければならない。トランスポンダー及びモニターセンサーは、選手のスピードやポジショニングなど外部データを届ける。このサービスは、公式タイミング及びデータプロバイダーにより提供され、発生したデータは無料で各NSA及びFISに提供されなければならない。

3. スキージャンプブーツ

3.1 定義

スキージャンプ用ブーツは、スキージャンプ競技のために特別に開発された履物であり、本規則の技術規定に従って製造、フィッティング、および使用されるものである。このブーツは、選手とスキー板との間での確実な力の伝達を確保し、踏み切り、飛行、および着地において足元を安定させる。

3.2 構造

1または2部品による構造が認められる。

2部品構造の場合、シャフトは可動式とすることができるが、シャフトの前傾角度は65度以上でなければならない。

3.3 制限

公認されたスキージャンプ用ブーツのみWC、WSC、およびSFWSCにおいて使用が認められる。

ブーツのいかなる部分においても、クイックリリースタイプの使用は禁止される。

3.4.1 サイズと形状

ブーツサイズと形状は、足の長さや形状と同じでなければならない。ブーツサイズ測定（内側から外側まで）の最大許容差はプラス2cmとする。

3.4.2 形状の変更（再形成）

空気力学的効果を高める目的で、ブーツの形状を変えることは認められない。

スキージャンプ用ブーツに対し、以下の変更が認められる。

- カスタムインソールの使用

- リアビンディング取り付け部のアルミニウム製品への交換

- 側面および接地面のソールの研磨、ただし、つま先のプラスチック部分で先端から4.5cmの範囲は変更不可

- ブーツストラップ（足首）取り付け部のアルミニウム製品への交換

- ブーツ長を調整するためのヒール部分の加工。滑らかかつ連続的な形状となるようブーツに恒久的に固定しなければならない。

- セーフティストラップ用取り付けポイント（ネジ、ブラケット等）の設置

- コンポジットシールドの取り付け

- いかなる修理も、担当用品コントローラーの承認が必要。

3.4.3 ソールの厚さ

ブーツソールは、ヒール（かかと）の最下部またはソールの前側で内側から外側を測定し40 mm以下でなければならない。

ブーツソール及びビンディングウェッジの全体の高さは、50mmを超えてはならない。

3.4.4 リアパーツの角度

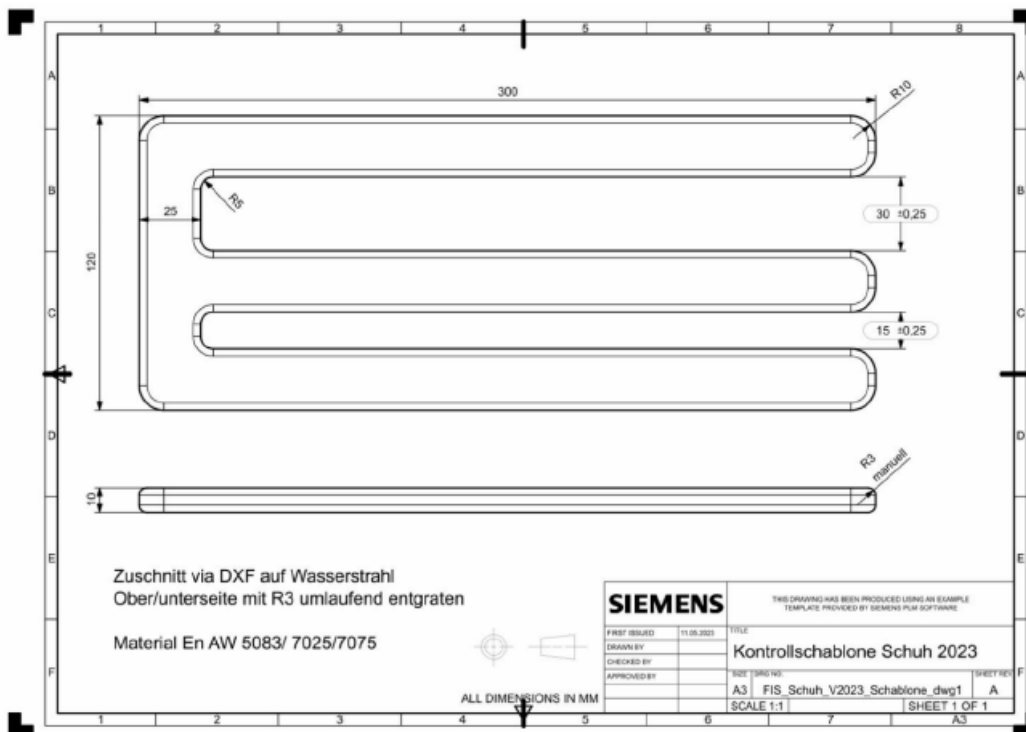
ブーツの後ろ側（リア）パーツの傾斜角度は、内側の測定で65度を下回ってはならない。

シャフトが可動式である2ピース構造の場合、最大前方支持角度は65度未満に調整できないようにしなければならない。

3.4.5 バックパーツ

ブーツのバックパーツの厚さは、30mmを超えてはならない。サイドの厚さは同じでなければならない、15mmを超えてはならない。

3.4.5.1 バックパーツテンプレート



3.24 コンポジット(合成)シールド/スポイラー

3.4.1 定義

コンポジットシールドは、スキージャンプ用ブーツのシャフト(足首部分)の後部および側面に装着できるシェルである。これらはブーツの安定性を高め、ブーツ全体の耐久性を向上させる。

3.4.2 制限

ブーツの後ろ側パーツのカーボンシールド(スポイラー)は認められる、しかし、面積——全体をブーツ面に付着させるが、ブーツ面を超えてはならず、左右対称に取り付けなければならない。スポイラーが全体を覆っていない場合、左右対称に取り付けなければならない。

ブーツやシールドにスーツを固定出来ないようにこれらをブーツ面に取り付けなければならない。

シールドは、ブーツの外側に直接接着するか、またはねじで取り付けることができる。

シールドは、ブーツの外面にのみ取り付けすることができる。

シールドはスキージャンプ用ブーツを補強することが可能だが、ブーツの本来の形状を変えてはならない。

シールドは、スーツをブーツやシールドに固定できないような方法で、ブーツの表面に取り付けなければならない。

コンポジットシールドは、その全面がブーツの表面に密着するように取り付け、かつブーツの表面からはみ出してはならない。

コンポジットシールドが表面全体を覆わない場合は、左右対称に取り付けなければならない。

3.35 ウェッジ/ジェット

3.5.1 定義

ウェッジ/ジェットは、ブーツのシャフト(筒部分)とふくらはぎの間に挟み込むくさび形の用具で、ジャンプ用スキーとのより安定した接触を作るためのものである。

3.5.2 制限

許容される最大寸法

バックパーツの最高部(24 cm): 3 cm

バックパーツの最低部(0 cm): 0.5 cm

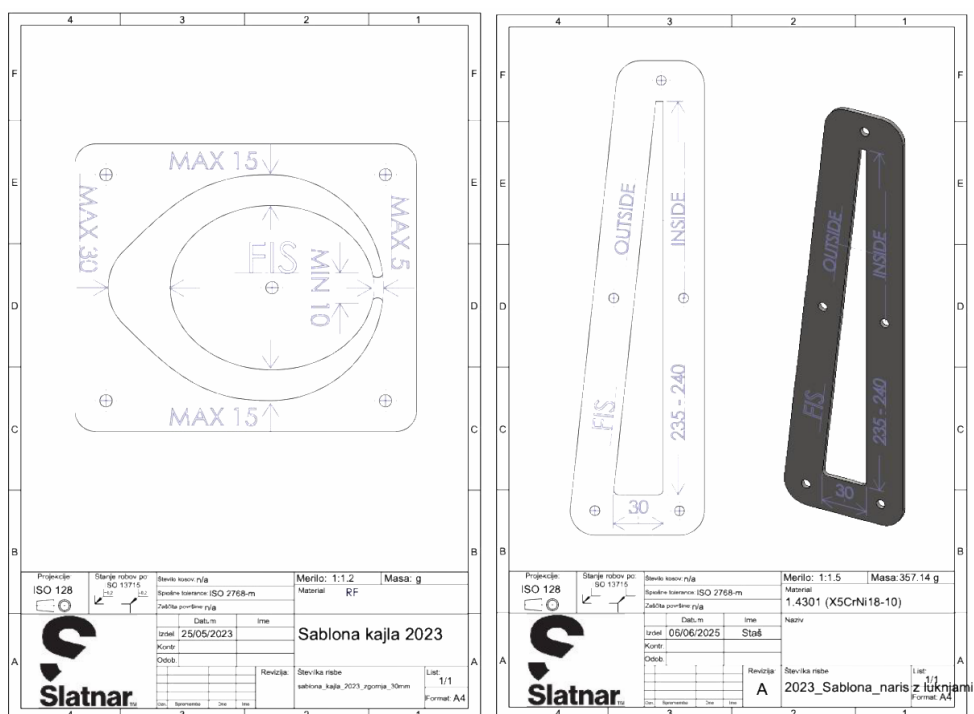
各サイド: 各側最大1.5 cmまで
 フロントエリア: 最大0.5 cmまで
 最大高さ: 24 cm

ウェッジ/ジェットの厚みは、中心線に対して対称(± 1 mm)であること。
 ウェッジ/ジェットの開口部は、前面中央部にのみ配置すること。
 ウェッジ/ジェットの上端は、ジャンプブーツの上端と同じ高さ(± 3 cm)に配置すること。
 ウェッジ/ジェットは、開口部を前に向けてブーツ内部に配置すること。
 ウェッジ/ジェットは、ブーツの内側に隙間なくフィットすること。

~~ブーツ内側にウェッジを飛行中着用することが出来る。ウェッジは、左右対称でなければならない。以下の最大サイズが認められる、バックパーツ: 3 cm、サイド: 各サイド1.5cm、フロントパーツ: 0.5cm。ウェッジの開口部は中央のフロントパーツにのみ配置できる。どちらかのサイドが開いているものは不可。ウェッジの上部エッジは、ジャンプブーツの上部エッジと同じ位置になければならない。ウェッジは、左右対称にブーツ内側に位置しなければならない(ブーツ内側でウェッジを回転させることは認められない)、および、ブーツの内側にぴったりフィットしなければならない。~~

3.3.4 3.5.3 ウェッジ/ジェット テンプレート

ウェッジ/ジェットは、ウェッジ/ジェット用テンプレートに適合しなければならない。



4. スキージャンプスーツ

4.1 定義と一般規則

スキージャンプスーツは、スキージャンプ用に設計された特殊な競技用衣服である

- 添付のスーツのイラストは、これらの文書化されたルールの正式なベースである
- スーツは、必要なすべてのポイントで測定が行えるように仕立てられている必要がある。
- スーツはどのポイントでも固定できない。
- 測定およびチェックのため、スーツにマークを付けることは許可される。
- 素材またはスーツに対する追加の化学的(気体、液体、固体)または機械的処理は許可されない。
- 外側のタックやダーツ、折り目、パッドは許可されない。
- スーツの内側やスタートビブの下に髪の毛を入れることは許可されない。髪の毛

- はスーツの外側に垂らすか、ヘルメットの中に入れなければならない。
- ユース競技(ユースカップ、FISシューラーGPなど)の例外:スーツのパーツ数とカットに制限はない。

4.2 スーツの構造

4.2.1 スーツのパーツ 男子用

男子用ジャンプスーツは 9つのパーツで構成される。

- フロントパーツ2つ(1)
- フロントズボン2つ(2)
- バックパーツ1つ(3)
- バックズボン2つ(4)
- 袖2つ(5)

2つのフロントパーツ(1)とバックパーツ(3)を脇の縫い目(サイドシーム)で縫い合わせて上半身を形成する。

袖(5)は袖の縫い目(スリーブシーム)に沿って縫い合わされ、袖山は上半身の袖ぐり(アームホール)に沿って縫い合わされる。

2つのフロントズボン(2)はクロッチシームで中央で縫い合わされる。

2つのバックズボン(4)はシートシームで中央で縫い合わされる。

フロントズボン(2)とバックズボン(4)は、各脚のサイドシームと内側の縫い目(インナーレグシーム)で縫い合わされる。

上半身(1、3、5)とズボン(2、4)はウエストシームで縫い合わされる。

メインのジッパーはフロントピース(1)とフロントズボン(2)の間に縫い付けなければならない。

スーツのフロントパーツ(ジッパー付き)は、次の例外を除き、胸から脚までのスーツのバックパーツと同じでなければならない:

スーツのバックパーツは股下の高さでフロントパーツより最大4cm大きくてもよい。

股下からウエストシーム、膝にかけて許容範囲は狭くなり、最終的には0になる。

ジャンプスーツの脚は脚の軸に沿ってカットしなければならない。

サイドシームはボディの側面に沿って縫われていなければならない。

スーツのすべてのパーツはルール(SCE 4.3)に適合した生地で作られていなければならない。

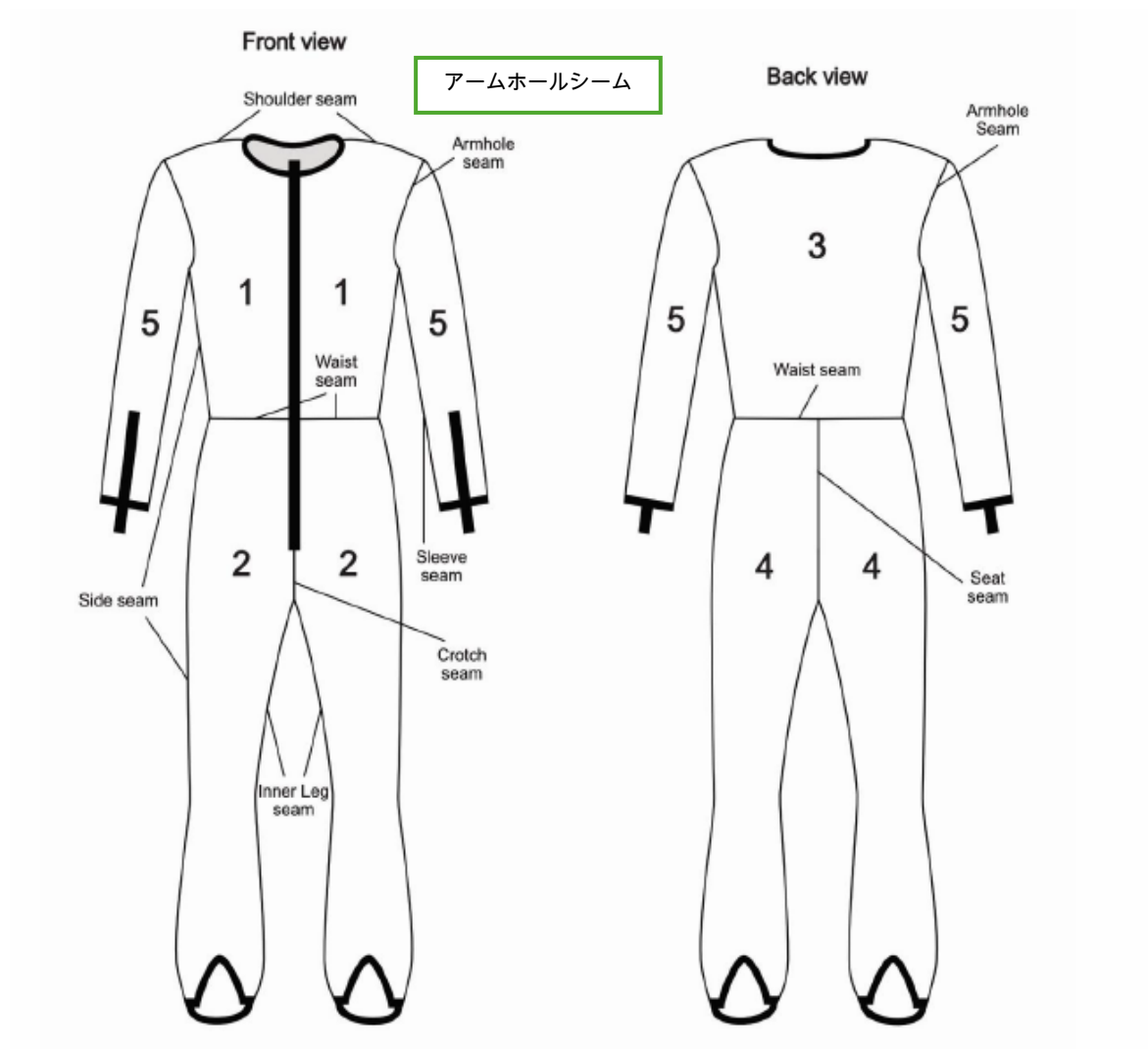
ジッパー、裾テープ、取り付け用のストラップはジャンプスーツの個別のパーツとはみなされない。

正面図

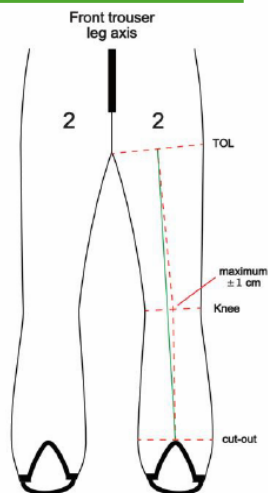
背面図

ショルダーシーム

アームホールシーム



フロント (前) ズボン
脚軸



TOL脚の上部

許容差 最大1cm

ヒザ

カットアウト (レッグホール)

4.2.1.1 セットイン スリーブ(袖)

スリーブシームは袖口(スリーブヘム)で始まり、身体の尺骨(ulna)の端より下に位置してはならない。スリーブシームの端は袖ぐり(アームホール)を交差し、スリーブシームの最も高い位置になければならない(図1参照)。

同時に、スリーブシームの端はアームホールと袖山の最下部となる(図2参照)。スリーブシームは、脇下で前身頃の脇縫い(サイドシーム)と接する。アームホールシーム/肩口(ショルダーキャップ)は肩の上を通らなければならない(図3参照)。袖をボディや手袋に固定することは許可されない。

腕の上部から手首にかけては、先細りの形状(図4参照)が必須。
袖ぐりの周囲は、まっすぐで水平(±5mm)でなければならない。

図1

Illustration 1

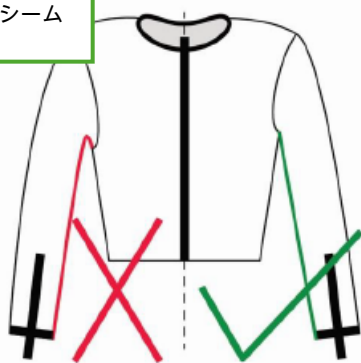
図2

Illustration 2

正面図

スリーブシーム

Front view
arm seam



Front view
armhole seem

正面図
アームホールシーム

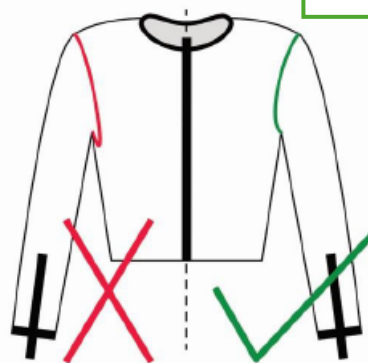


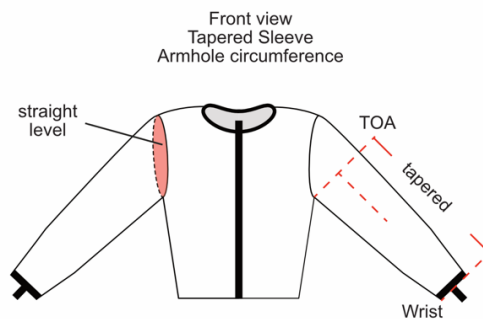
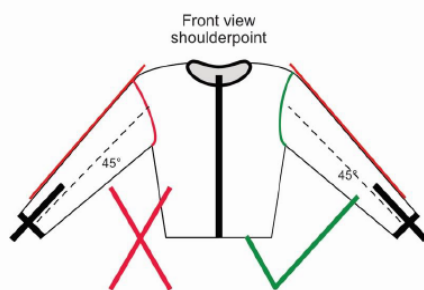
Illustration 3

図3

正面図
ショルダーポイント

図4

正面図 テーバードスリーブ
袖ぐりの周囲



4.2.2 スーツのパーツ女子用

移行期間は、2026年のサマー競技会にのみ適用される。

女子用ジャンプスーツは13個のパーツで構成される。

- フロント中央パーツ2つ(6)
- フロント外側パーツ2つ(7)
- バックパーツ1つ(3)
- 前袖2つ(8)
- 後袖2つ(9)
- フロントズボン2つ(2)
- バックズボン2つ(4)

フロント中央パーツ(6)とフロント外側パーツ(7)をプリンセスシームで縫い合わせる。これらのピース(6、7)を脇縫い(サイドシーム)でバックパーツ(3)と縫い合わせて上半身を形成する。

前袖(8)と後袖(9)は、アウタースリーブシームとインナースリーブシームで縫い合わされる。

上半身と袖はラグランシームで縫い合わされる。

2つフロントズボン(2)は、クロッチシームで中央で縫い合わされる。

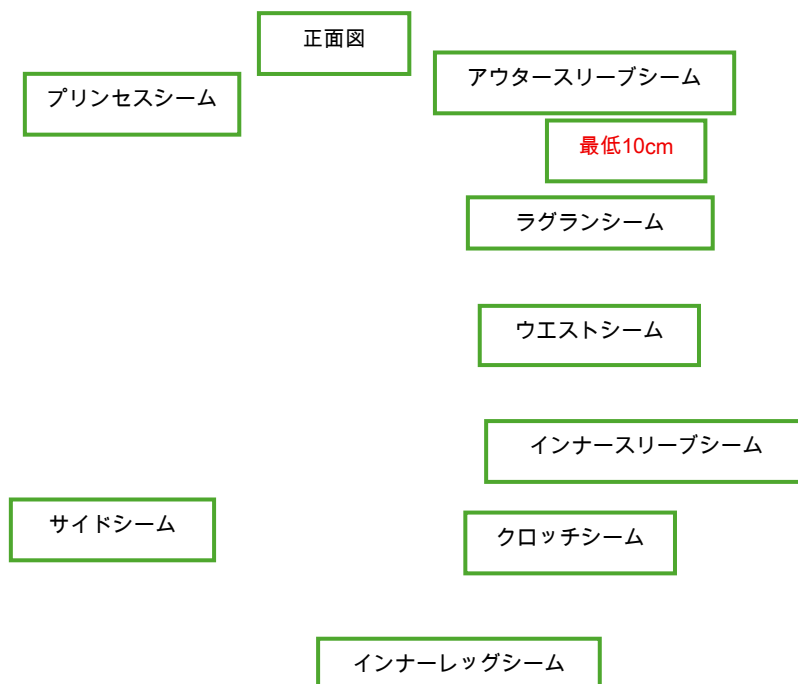
2つのバックズボン(4)は、シートシームで中央で縫い合わされる。

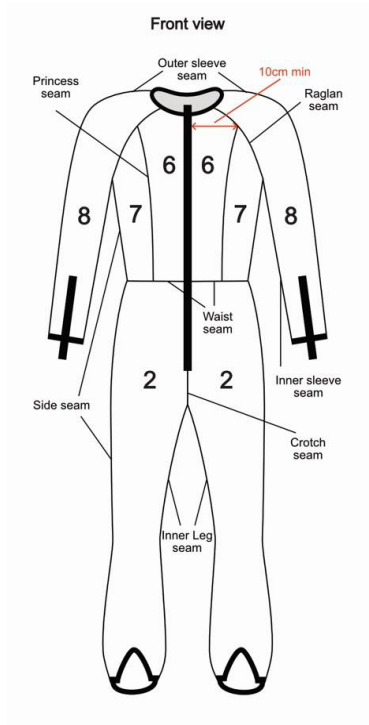
フロントズボン(2)とバックズボン(4)は、各脚のサイドシームとインナーレッグシームで縫い合わされる。

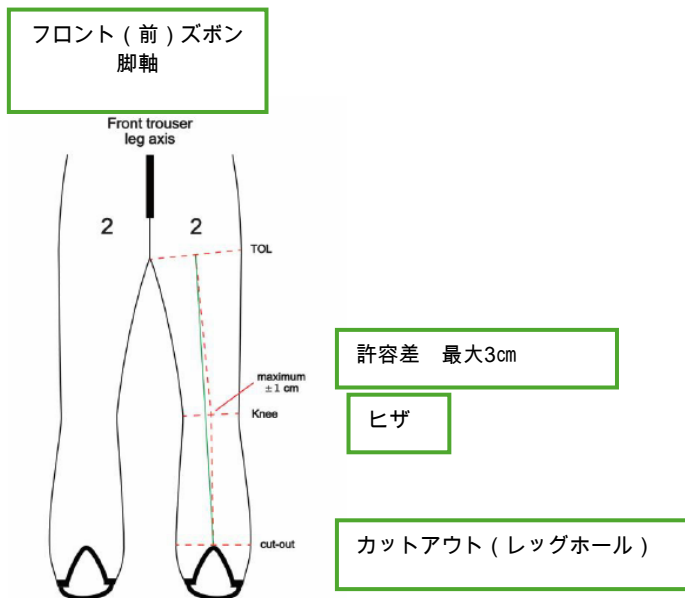
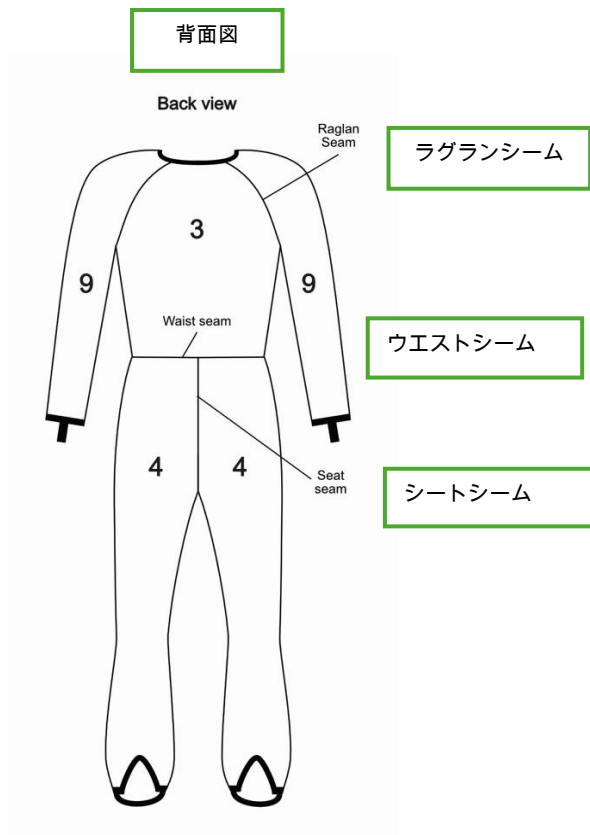
フロント上半身(6、7)(ジッパーのある左右)は、以下の例外を除き、ウエストシームから胸囲の最高点までのバックパーツ(3)と等しくなければならない。

胸の一番高い部分での許容範囲は50mm、ウエストシームまで0mmに減少する。フロントパーツのみ大きくすることができる。

スーツの下部(ウエストシームより下)は男子用カット(2と7)と同一である。







4.2.2.1 プリンセスシーム

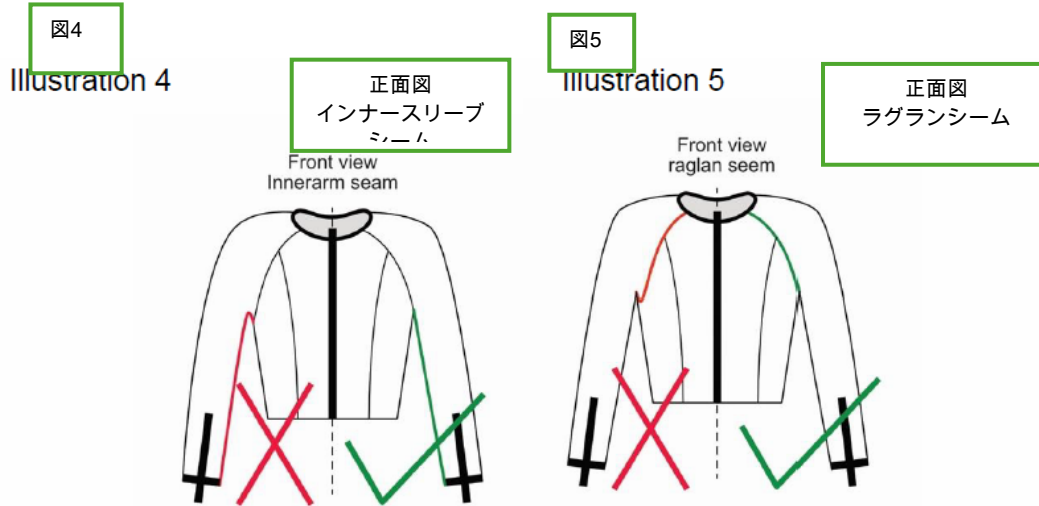
フロントパーツ(1)の上部の幅は10cm以上とし、プリンセスシームは胸の最も高い位置を通らなければならない。

4.2.2.2 ラグランスリーブ

肩を含め、袖はそれぞれ2つのパーツ(8、9)で構成される。袖は脇下から下まで同じ長さでなければならない。後部の縫い目は、袖の長さに沿って中央に配置され、胴体の縫い目と平行でなければならない。

スリーブシームはスリーブヘム(袖口)から始まり、身体の尺骨の端より下に位置してはならない。スリーブシームの端(図4)はラグランシームと交差し、スリーブシ

ームの最高点に位置しなければならない。
同時に、スリーブシームの端はラグランシームの最下点となる(図5)。インナースリーブシームは、脇下で前身頃のサイドシームと接する。ラグランシームは襟と繋がっている。袖を胴体や手袋に固定することは許可されない。



4.2.3 クロッチ(股)

股の交差点は、インナーレグシーム、クロッチシーム、シートシームが交わる点である。

このポイントは常に股の最も低い部分でなければならない。

スーツを裏返しにした状態で、クロッチシームとシートシームは、股の交差点かテンプレートの角度(FS-BS)より上を通らなければならない。両方のシームには、それぞれ1つの曲線のみを含めることができる。

ジッパーからのクロッチシームと、ズボンの後ろのウエストシームまでのシートシームは、メインのシームまたはガイディングシームとして、一列に縫い付けられなければならない。インナーレグシームは、このメインシームに繋がれていなければならない。

ウエスト位置において、シートシーム(後中心の縫い目)とジッパー/クロッチシームとの間の角度は、最大8cmの許容範囲が認められる。

シートシーム部分には、少なくとも4cmのクロッチ切り込み(カットアウト)が必要。

ウエストシームの高さにおいて、シートシームの長さは、最大許容値である+5cmを超えてはならない。

ジッパーとクロッチシームは一直線に配置される必要があり、その許容誤差は最大1cmとする。

クロッチシームからシートシームへ

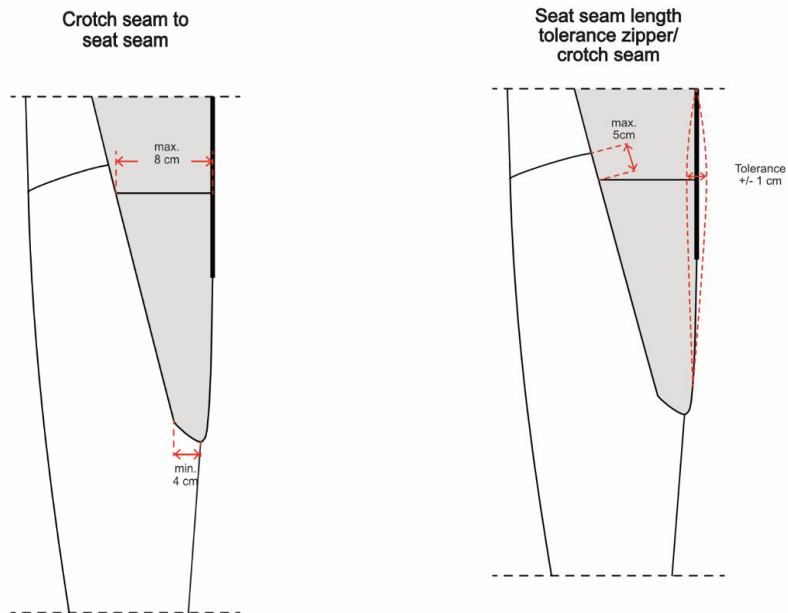
シートシーム長 許容 ジッパー/クロッチシーム

最大8 c m

最大5 c m

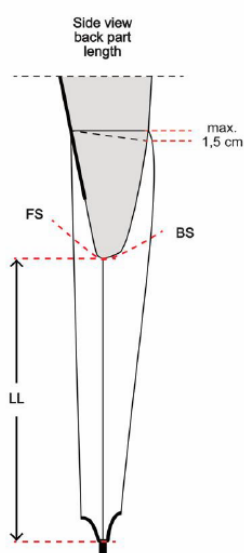
許容差
+-1cm

最小4cm



4.2.4 ウエストシーム

ウエストシームは体の周りを水平に通じ、腰骨の高さに配置しなければならず、上下の許容範囲は ± 5 cm。(女子の新ルール)
 フロントとバックのセンターの差は ± 1.5 cm を超えてはならない。
 フロントパーツのウエストシームはまっすぐでなければならない。



側面図
 バックパーツ長さ

最大1.5cm

4.2.5 シーム/ステッチ

シームは、スーツのパーツ、ジッパー、裾テープ、ストラップを接合する場合のみ許可される。

ストレートステッチとシングルステッチのみ使用可能。

クロッチシーム、シートシーム、および脚(ブーツ)の最後の 15 cm は二重に縫うことができる、ただし、互いに重ねて縫うことができるが、隣り合わせて縫うことはできない。

い。
 シームはスーツの内側に位置してなければならない。
 生地を縫うことは許可されない。
 縫いしろ(素材の縫い目(シーム)の後ろから端まで)は1cmを超えてはならず、つな
 げてはならない。
 スーツの内側または外側への追加のシームやシームの修正、コード、ロッド、プリー
 ツ、バンドなどの取り付けは許可されない。

4.2.6 裾/カットアウト

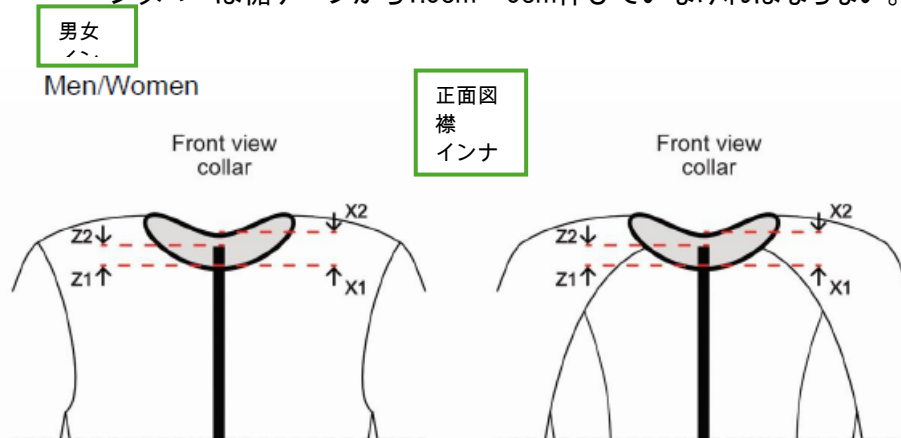
脚の裾、腕の裾、襟の縁は連続したゴムバンドで縁取りされていなければならない、
 同じ物理的素材の特性を持っていること。
 各裾の幅は 1.5 cm を超えてはならない。
 裾テープにより生地にしわや折り目が付かないようにしなければならない。
裾には二重縫いが認められる。

4.2.6.1 襟/ネックライン

襟は丸い形で、**体胴体にぴったりフィットしなければならない。**
前面において、襟は鎖骨より高い位置にあってはならない。
背面において、襟は第7頸椎(C7)の棘突起より高い位置にあってはならない。

襟の前面と背面の高さの差は5cmを超えてはならず、フロントパーツは常に低くなる。
 (X1 - X2)

ジッパーは裾テープから1.5cm~5cm伸びていなければならない。(Z1 - Z2)



男女

4.2.6.2 スリーブヘム(袖の裾)

腕の裾は腕の軸に対して 90度の角度でなければならない、尺骨を超えてはならない

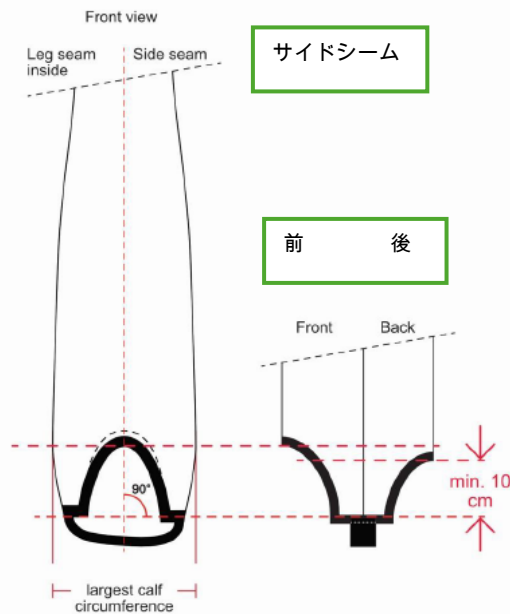
4.2.6.3 レッグヘム(脚の裾)

脚の裾には、前と後ろに靴用の切り抜きがなければならない。
 リアシューの切り抜き(カットアウト)の高さは最低 10 cm なければならない。
 フロントシューの切り抜きは、ブーツストラップまたはバックルの後ろに位置しな
 ければならない。
 スーツをブーツ(スーツの内側)に固定するには、インナーレッグシームの裾から
 アウターサイドシームまで、伸縮性のないストラップを 1 本縫い付けなければなら
 ない。
 ストラップが取り付けられている脚の裾は、脚の軸に対して 90度の角度で配置す
 る必要があり、外側が常に内側よりも長くなる。
脚の裾は、ストラップの幅に合わせて、90度の角度で真っ直ぐでなければならない。
 ストラップの幅は2cm~4cm、厚さは最大2mmなければならない。
 ストラップは 1つの連続したピースで作られている必要があり、複数の材料を結合す
 るためのクリップ、バックル、またはその他の留め具を含んではならない。
 スーツの脚はストラップでブーツの軸に対して必ず90度に固定されなければならな

い。
裾の長さはスキージャンプブーツの靴底を超えてはならない。
ふくらはぎの周囲は、前脚のカットアウトの高さで最大でなければならない。

正面図

レッグシームインサイド



サイドシーム

前 後

最低10cm

ふくらはぎの最大周囲

ーブから 1.5 cm～5 cm 伸びていなければならない。
の最大幅は 1.5 cm。

ジャンプ中はジッパーをすべて閉じたままにしなければならない。

4.2.7.1 スリーブジッパー

各袖にジッパーを1つ縫い付けてもよい。

ジッパーは肘の前で終わらなければならない。

~~必要に応じて位置(リア、フロント、サイド)を選択できる。~~

~~ジッパーは手の甲(手首)側に配置しなければならない。~~

4.2.7.2 メインジッパー

フロントメインジッパーは、フロントピース(1)とフロントズボン(2)の間に縫い付けら

れ、ウエストシームの少なくとも5cm下、股のクロスの前最大10cmに縫い付けられ

なければならない。

4.2.8 ラベル

スーツには以下のデータが記載されたラベルがなければならない。

－ 選手名

－ 国

ラベルは襟の近くのバックパーツになければならない。

ラベルは襟のバックパーツの裾に縫い付けることもできる。

ラベルは、印刷または防水性インクで手書きもできる。

ラベルは16cm²を超えてはならない。

4.2.9 コマーシャルステッカー及びNSAステッカー

~~本項に関する詳細な提案が発表される予定。~~

4.2.9 スポンサーロゴ

~~スポンサーロゴは空気透過率の対象外となる。~~

4.2.10 デザインロゴ

2025/2026シーズンで、ジャンプスーツ(スキージャンプおよびノルディックスキーコンバインド)にデザインロゴを配置することができる。

デザインロゴとは、ブランド、企業、または製品を表すために、通常、タイポグラフィ、色、形状を組み合わせた特徴的な視覚的マークである。ロゴは、ナショナルチームのパートナーとして正式に認められているアパレル企業のロゴでなければならない。

- ・ 片脚の最大サイズ: 110cm² (両脚で最大220cm²)
- ・ 位置: 膝下の前面

デザインマーキングは、伸ばしていない状態で、ボクシング計測システムを用いて計測されなければならない。ボクシング計測システムでは、デザインマーキング全体をボックスで囲むようにしなければならない。

スポンサーロゴと同様に、デザインロゴは空気透過率検査の対象外である。

ロゴ付きスーツを使用する前に、メディア & マーケティング部門の承認を受け、FIS ヘッド用品コントローラーに検査されなければならない。

スポンサーロゴに関する規定は、用品コマーシャル(商業用)マーキング規格に定められている。

4.3 スキージャンプ用生地

4.3 定義及び一般規則

スキージャンプ用生地は、スキージャンプスーツの製造のために特別に開発された素材である。

スキージャンプ用生地は、縦方向と横方向に伸縮性のあるツーウェイ伸縮生地でなければならない。また、内側と外側の両方に布地の表面が施されていなければならない。

生地の厚さは4.0mm以上、6.0mm 以下でなければならない。

裏地は白色でなければならない。

内層とフォームの間、および外層とフォームの間の機能層として、穴あきホットメルトフィルムを使用することは禁止される。

4.3.1 生地の構成

スキージャンプスーツの構成は、5層ラミネート生地以下で構成される:

- 表地/第一層(布地)
- フォーム
- 弾性膜**または機能層**
- フォーム
- 裏地(布地)

メンブレンまたは機能層は、生地の中心に配置されなければならない(許容差は最大±0.5 mm)。

4.3.2 スキージャンプ用生地の空気透過率(通気性)

ジャンプスーツの生地は、外側から内側へ、内側から外側へ、最低限の通気性を示さなければならない。

最低40リットル/m²/秒(FIS規則)の通気性は、穴を開けること(ミシン目)で達成される。

最低限の通気性は以下のように定める。

生地を伸ばさない状態で、10mmの水圧で40リットル/m²/秒以上の通気性を示さなければならない。

4.3.2.1 素材の検査

FISコントロール手順／用品ワーキンググループが連邦物質管理研究所と共同で策定した最低限の通気性に関するガイドラインは有効。スキージャンプスーツには、専門的な規格および通気性要件を満たしている限り、多層素材の使用が認められる。

4.3.4 追加処理

化学的または機械的な表面加工（例えば、アルミニウムスチーム、フォイル加工、成形など）などの追加処理は認められない。

4.3.5 生地 のホモロゲーション（公認）製造業者

スキージャンプスーツ生地を製造するすべてのメーカーは、FISに正式に登録され、生地が公認されなければならない。

公認登録には、使用される各々のマテリアル・生地の生地サンプルと技術仕様（データシート）の提出が含まれる。

メーカーは、製造した生地が規則の要件を常に満たしていることを保証する責任を負う。

生地の変更（組成、織り方、コーティングなど）は、事前にFISに報告し、再度検査を受けなければならない。

FIS競技会用のスキージャンプスーツの製造には、公認登録および承認された生地のみ使用できる。

生地が不適合であると疑われる場合、選手のスーツを回収し、検査機関に送付して検証を受ける場合がある。

以下のパラメータは下記のスキージャンプ生地データシートに記録されなければならない。

素材組成	…%、…%、…%
厚さ	mm
重量	g/m ²
空気透過率	l/m/s
仕上げ（表面加工）/処理	
許容差	%、mm、…
用途	

4.4. 許容範囲、測定

4.4.1 身体 - スーツの周囲の長さ

スキージャンプ男子とノルディックコンバインド男子：

スーツは、どの部分においても選手の身体の周囲より 2.0 cm ～ 4.0 cm 大きくなければならない。

例外

スーツの脚は、どの箇所においても、選手の身体の周囲より2.0～5.0cm大きくなければならない。

スキージャンプ女子とノルディックコンバインド女子：

スーツは、どの部分においても脇の下から膝までの選手の身体の周囲より 2.0 cm ～ 5.0 cm 大きくなければならない。

アンダーバストの周囲は測定しない。

スーツの袖は、どの部分においても選手の身体の周囲より 2.0 cm ～ 4.0 cm 大きくなければならない。

選手がバックプロテクターを着用している場合は、バックプロテクターを着用した状態で身体の周囲径を測定しなければならない。

計測器具：

テーラー用メジャー

ボディ、脚、腕の周囲は、軸に対して90度で測定される。

スーツは、折り目を付けずに平らに伸ばした状態で外側の表面で測定される。

スーツは指定されたポイントでマークを付け、計測する。その後、選手の身体の対応するポイントでマークを付け、計測する。

選手の身体の任意の箇所を測定し、スーツの対応する箇所と比較することができる。スーツと身体の測定位置を決定する基準点は、胴体の場合はウエストシーム、脚の場合は腰骨の位置(ヒップボーン)となる。

ボディ測定はすべてスキージャンプ用の下着個人の下着を着用した状態で行う。

例外

男子の上半身:素肌

女子の上半身:スポーツブラ着用

スーツ着用時は、腕を伸ばし、肘が身体から30cm離れるように測定する。脚はまっすぐ伸ばし、足の間隔は30cm。選手は直立姿勢で立っていないなければならない。

4.4.1.1 袖

周囲の測定箇所は、腕の最上部(TOA)と手首に限定される。

袖の周囲の許容範囲は+2~+4cmまで。

周径の許容範囲の下限である+2cmは、腕の全長にわたって維持されなければならない。

4.4.1.1.1 腕の最上部(TOA)

スーツは、袖の最も高い位置の周囲で測定される。その際、肘の中心と腕の最上部の中心を結ぶ軸に対して90度の角度で計測する。

4.4.1.1.2 手首

手首の測定は、袖口で行われる。

4.4.1.2 腋下・肩部測定

腋下・肩部周囲径は、選手がスーツを着用した状態で測定する。両腕は体に対して45°の角度で伸ばす。また、選手がスーツを着用していない状態でも測定する。この場合は、両腕を体に対して45°の角度で伸ばした状態で腋下・肩部周囲径を測定する。

4.4.1.3 膝下丈

ブーツやジェットパンツを着用する場合、スーツは膝から足首まで、選手のボディサイズ(体型)より2cm~10cm大きくなければならない。膝(膝位置の許容範囲:2~5 cm)から脚の下の裾にかけて移行する。

膝の周囲を直接測定する際は、手で膝頭の位置を確認し、その位置をスーツにマーキングしてもよい。身体の周囲は、膝頭の間接点で測定する。

4.4.1.4 脚の上部の測定(TOL)

スーツは、大腿部の最も高い周囲(大腿部の軸に対して90度の角度)で測定される。

選手のボディーは、大腿部の最大周囲大腿の軸に対して90度の角度で、FISが規定する股下の高さの位置で行われる。

高さの測定は脚の外側で、地面から計測する。その際、選手は靴を脱ぎ、両脚を完全に伸ばした状態で直立しなければならない。

4.4.2 ウエストシーム

前身頃(フロントパーツ)のウエストシームは直線で、上下±1cmの許容範囲。(スーツをテーブルに置いた状態)

ウエストシームの中心の前後差は、最大1.5 5cmの許容範囲。(スーツをテーブルに置いた状態)

測定器具:

金属製のメジャー

4.4.3 肩上のアームホールシーム

アームホールシームはデジタル水準器に触れてはならない。

測定器具:

45° 測定可能なデジタル水準器

選手は両腕を45°に伸ばした状態で直立しなければならない。

水準器は前腕と上腕の外側に沿って設置しなければならない。

4.4.4 脚の軸および脚のねじれ

脚軸の許容範囲は、膝の高さで±3 1.0cm。

脚のねじれの許容誤差は2.0 cm。

測定器具：
金属製のメジャー

スーツの大腿、膝、靴の切り抜き部分の上部に軸の中心点をマークする。
大腿部のマーカーから靴の縁まで直線を引き、膝における偏差は3 1cmを超えてはならない。

脚のねじれの測定は、スーツをテーブル上に平らに置き、片脚を上方に折り曲げた状態で行う。測定は膝から下方に向かって行われる。

4.4.5 袖丈 (SL)

腕の長さより5 cm以上短くないこと

計測器具：
金属製メジャー

袖口から脇下のシームの交点まで直線で計測する。この測定では、スーツを袖口から吊り下げる。

グローブ着用なしの選手のスーツの測定：

腕は体の横から20～30cm伸ばす。

袖は、しわや折り目がなく、尺骨を越えて伸びてはいけない。

4.4.6 脚丈 (LL)

男性：

最小測定値は、選手の股下の長さより少なくとも42cm長くなければならない。

女性：

最小測定値は、選手の股下の長さより2cm以上短くないこと。

測定 器具：
金属製のメジャー

内股の長さ (LL) は、スーツの股下 (SX) のシームの交点から、裾のストラップが縫い付けられている最下部のシームまで直線で測定する。

この測定は、スーツを脚から吊り下げて行う。

4.4.7 股下測定

男子：

股下の高さ+32.0cm以上

女子：

股下の高さ-2.0cm以上

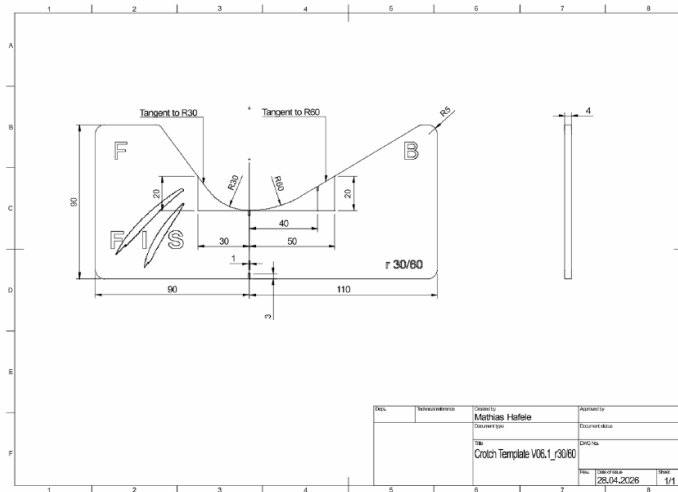
測定器具：
股下測定器具(スラトナー)

地面から股下までの高さを垂直に測定。選手はジャンプスーツ、ジャンプブーツ、ウェッジを着用しなければならない。測定中は、両足は30cm離し、脚を完全に伸ばした状態でなければならない。襟は選手の胴体に完全に密着していなければならない。(前面：鎖骨より高い位置にならないこと、背面：第7頸椎 (C7) 棘突起より高い位置にならないこと)。ブーツの後部は股下測定器具の金属部分に接触しなければならない。股下測定器具のホイールに平らな中底を乗せた状態でのみ立つことができる。股下測定は、ジャンプの前後どちらでも行うことができる。

4.4.8 股下テンプレート (FS - BS)

股下テンプレートは、インナーレッグシーム(内股の縫い目)に対して90° の角度で配置し、テンプレートの角度の最も深い点は股の交点にならない。

シームはテンプレートより上を通っていなければならない。



4.4.9 スキージャンプ用生地の空気透過率(通気性)

スキージャンプ用生地の最低通気性は40 L/m²/秒。

スーツのすべてのパーツの通気性の差は20L/m²/秒を超えてはならない。

通気性は、ジャンプ中の空気の流れの方向に沿って生地部分で測定する。

男子:

フロントパーツ - 外側から内側へ

バックパーツ - 内側から外側へ

袖 - 外側から内側へ

女子:

フロントパーツ - 外側から内側へ

バックパーツ - 内側から外側へ

測定装置:

Steinelポロシメーター V01、V02、V03

4.4.9.1 一次結果が陰性の場合の手順

1回の測定値が40リットル/m²/秒未満の場合、以下の手順が実行される。

- 競技用スーツの該当箇所において、無作為に選択された 2箇所 で再試験が行われる

- 3 回の測定のうち少なくとも 2 回が 40 リットル/m² /秒を下回る場合、失格 (DSQ/NPS) が発行される。

4.5 スーツのマーキング

冬季オリンピック(OWG)、FIS世界スキー選手権(WSC)、FISスキーフライング世界選手権(SFWSC)、FISワールドカップ(WC)、およびグランプリシリーズ(GP)で使用されるすべてのスーツは、FIS用品コントローラーによる検査と承認を受けていることを示すため、大会前にFIS指定のシステムでマーキングを行わなければならない。

- 技術(テクニカル)承認に合格したスーツのみがFIS用品コントローラーによるマーキングを受ける。

- スーツには、固有のエンコードされたNFCチップが5個(男子)または3個(女子)搭載され、スーツの内側の所定の位置に熱プレス機で貼り付けられる。

- マーキングされたスーツのデータ(選手名とスーツ番号)は、FIS指定のデータベースに登録され、記録される。

- マーキングのためにスーツを提出できるのは、競技会に参加する選手のみ。

- 各選手は、シーズンごとに登録および使用できるスーツの数が限られている。

- 今シーズン初めて競技会に参加する選手は、2着目のスーツ(予備)をマーキングしてもよい。

- SJの選手が冬季に追加のスーツを受け取れるのは、FISのスーツシステムに登録されたスーツを所持していない場合のみ。

- 夏季シーズンで使用したスーツは、冬季シーズンでも使用できる。

- スーツ割り当てリストに登録されているすべてのスーツの使用が許可される。

4.5.1 スーツ割り当て期間 2026/2027スキージャンプ男子

Wisla, Courchevel	1 Suit
Rasnov, Klingenthal	1 Suit
Lillehammer, Ruka, Wisla, Titisee-Neustadt,	1 Suit
Engelberg, Oberstdorf, Ga-Pa, Innsbruck, Bischofshofen, Zakopane, Sapporo	1 Suit
Willingen, Lake Placid, Lahti, Vikersund	1 Suit
WM Falun, Oslo, Planica	1 Suit

4.5.2 スーツ割り当て期間 2026/2027 スキージャンプ女子

Wisla, Courchevel,	1 Suit
Rasnov, Klingenthal	1 Suit
Lillehammer, Hinzenbach, Wisla, Titisee-Neustadt	1 Suit
Engelberg, Oberstdorf, Ga-Pa, Innsbruck, Bischofshofen, Ljubno, Zhangjiakou, Zao, Sapporo	1 Suit
Willingen, Lake Placid, Lahti, Vikersund, Villach	1 Suit
WM Falun, Oslo, Planica	1 Suit

4.5.3 スーツ割り当て期間 2026/2027 ノルディックコンバインド男子

SGP	1 Suit
Ruka, Trondheim, Austria, Val di Fiemme, Germany	1 Suit
Otepää, Germany, Seefeld, Lake Placid, Lahti	1 Suit
WM Falun, Oslo, TBD	1 Suit

4.5.4 スーツ割り当て期間 2026/2027 ノルディックコンバインド女子

SGP	1 Suit
Ruka, Trondheim, Austria, Val di Fiemme, Germany	1 Suit
Otepää, Germany, Seefeld, Lake Placid, Lahti	1 Suit
WM Falun, Oslo, TBD	1 Suit

4.5.5 スキージャンプスーツの使用

- 予選、1本目、2本目、3本目、ファイナルラウンドを含む、ワールドカップおよびグランプリシリーズでは、競技会目ごとに1着、大会(イベント)ごとに2着の使用が認められる。
- ワールドカップイベント、SGPイベント、OWG、WSC、SFWSC、4ヒルトーナメントは、競技目ごとに1着ずつ、合計2着の使用が認められる。
- FIS用品コントローラーは、特定の状況(降雨、降雪など)において、競技日中に2着目のスーツの使用を許可する権利を有する。
- スーツのマーキング検査は、ジャンプ前および/またはジャンプ後に実施することができる。
- ジャンプ前またはジャンプ後にスーツのスキャンを確認することは、選手の責任である。
- 公式ジャンプ(公式トレーニング、試技、予選、試合)中にスーツが破損した場合、用品コントローラー(EC)の検査および承認を受けた後、選手は破損部分を交換することができる。その場合、FIS用品コントローラーに遅滞なく報告し、FISチップデータベースに記録しなければならない。この手順については、全チームに通知される。
- マークされたスーツが、マーク後に不正操作(腕や股下の長さ、スーツのカットなど)された場合、FIS用品コントローラーはチップを無効化し、当該スーツの使用や交換はできなくなる。不正操作は選手の失格につながり、意図的な不正操作はFISの管轄機関に審査のために提出され、更なる措置やペナルティが科される可能性がある。
- 暫定的な資格停止処分の提案がなされる可能性があり、当該ケースは「FIS競技不正操作防止規則」に基づき、更なる調査が行われ、制裁が科される可能性がある。

4.5.6 ノルディックコンバインド用スーツの使用

- OWGごとに1着、WSCに1着の使用が許可される。
- NCワールドカップ、サマーグランプリ、COCイベントごとに1着の使用が許可される。

4.5.7 その他スキージャンプシリーズ(COC, I-COC, JWSC)

- COC、I-COC、JWSCで使用するすべてのスーツには手作業でマーキングされる。各選手は競技会につき1着の使用が許可される。
- ~~公式ジャンプ競技(公式トレーニング、試技、予選、試合)中にスーツが破損した場合は、遅延なくFIS用品コントローラーに報告しなければならない。この場合、FIS用品コントローラーは2本目の競技ラウンドで別のスーツの使用を許可することができる。~~
- FIS用品コントローラーは、特定の状況(降雨、降雪など)において、競技当日に2着目のスーツの使用を許可する権利を有する。

4.5.8

スーツの破損

公式ジャンプ(公式トレーニング、試技、試合)中にスーツが破損した場合、遅延なく選手はその破損箇所をFIS用品コントローラーに提示しなければならない。

その後の対応については、FIS用品コントローラーが決定する。

選手は次のラウンドに向けてスーツを交換することが認められるが、そのジャンプ後に用品恩トロールを受ける必要がある。

- 小さな穴は接着剤で塞ぐか、またはフイルでパッチ(直径最大2cm)、スーツの各部位につき最大1パッチを貼って補修することができる。

- 破損した部分を交換する。

- スーツ全体を交換する。

当該手順はFISのスーツ・データベースに記録され、すべてのチームにその手順が通知される。

4.6

テクニカル(技術)承認(TA)

冬季オリンピック競技大会(OWG)、FIS世界スキー選手権(WSC)、FISスキーフライング世界選手権(SFWSC)、FISワールドカップ(WC)、およびグランプリシリーズ(GP)で使用するすべてのスーツは、テクニカル(技術)承認を受けなければならない。

スーツのマーキングに関するテクニカル承認が得られた後、スーツはFIS用品コントローラーが保管する。選手は常にFIS用品コントローラーの指示に従わなければならない。

FIS用品コントローラーは、すべてのS.C.E.規則を確認する権限を有する。

~~選手1人あたり、イベント/週末1回につき1着のスーツが技術承認の対象となる。~~

~~スキージャンプの例外:~~

~~参加する各選手は、オリンピック冬季競技大会(OWG)で技術承認のために最大2着のスーツを提出できる。~~

~~技術承認が不合格となった場合、各チームは追加で1着のみ技術承認を受けることができる(チームあたり1着)。~~

~~このため、ナショナルグループは別チームとみなされる。~~

- TA(技術承認)は、ワールドカップまたはSGP(サマーグランプリ)大会に関連してのみ実施される。

- フルディックコンバインドCOC(コンチネンタルカップ)においては、簡略化されたTAが認められる。

- FISは、FISスーツシステムにスーツを登録していない選手に対してのみ、TAを提供するものとする。

- TAに登録できるスーツは、選手1人につき1着のみとする。

ただし、部品が交換されたスーツや、破損後に交換されたスーツは例外とする。

- 選手1人につき、大会または開催週末ごとに1着のスーツが技術承認の対象となる。

- 追加の技術承認(不合格となった技術承認の再確認)を申請できるのは、FISスーツシステムにスーツが登録されていない選手のみであり、その数は1チームにつき最大1名とする。

このため、ナショナルグループは別チームとみなされる。

- 日本で開催される大会において、選手はTAに予備のスーツを持ち込むことはできない。

以下の測定を実施しなければならない。

4.6.1 選手着用なしのスーツ:

袖丈(SL)

インナーレッグ(内股)丈(LL)

股下テンプレート(FS-BS)

肩

脚裾

4.6.2 選手着用時のスーツ:

股下コントロール

肩(男子)

脚の上部(TOL)

(スーツのサイズ、裁断などに)不備がある場合は、用品コントローラーが計測を行う必要がある。

4.7 用品コントロール(検査)／スーツ

用品コントロールは、競技用品を無作為に検査する。

用品コントロールは、ジャンプの前または後に実施できる。

選手は、いかなる場合もFIS用品コントローラーの指示に従わなければならない。

検査中に検査官の指示に選手が従わなかった場合、これは「用品検査拒否」(ICR 441)とみなされる。

選手はコントロール前、または、コントロール前のジャンプ後にいかなる用具も操作することは許可されない。

違反行為を処罰するためにビデオのモニタリングが使用される場合がある。

4.7.1 用品コントロール時の身体の姿勢

- 直立姿勢

- 両脚の間隔を30cm開ける

- 両腕を体から20cm離す

- 検査中の身体の動きは認められない

- 身体計測時も同様の姿勢

4.7.21 スタートコントロール

- スーツのマーキングコントロール

- 股下コントロール

- アームヘム(袖裾)

- レッグヘム(脚裾)

- カラー(襟)

- 不備があった場合(用品コントロール室での報告および追加計測)

スタートコントロールはバーチャルラインから始まる。選手は指定されたバーチャルラインの前にスタートコントロールの準備をしなければならない。バーチャルライン後のスーツのストレッチや操作は許可されない。選手は自然でリラックスした姿勢でコントロールボックスまで歩かなければならない。スーツはスーツ／体のどの部分でも固定してはならない。コントロールを受ける際は、スーツがルールに適合していなければならない。股下を測定する際、襟は選手の胴体(前面:鎖骨より高い位置にないこと、背面:第7頸椎(C7)棘突起より高い位置にないこと)と完全に接触していなければならない。

選手はFIS用品コントローラーの指示に従わなければなりません。指示に従わない場合は、コントロールを拒否される場合がある。

選手は、コントロール後のジャンプ前、およびコントロール前のジャンプ後に、いかなる用品も操作してはいけない。

5 スキージャンプアンダーウェア

5.1 定義と一般規則

スキージャンプ用アンダーウェアは、スキージャンプ用に設計された特殊な競技用衣類である。

- ストッキング/ソックスとパンツを重ねて着用することは許可されない。

- 外側のタックやダーツ、折り目、パッドは許可されない。

- アンダーウェアのサイズ、フィット、形状は、ボディーサイズと体形と同じでなければならない。

- アンダーウェアのデザインは、ジャンプ性能や身体測定時に機能上の利点をもたらすものであってはならない。

- 固定するものは認められない。

- 如何なる種類のシリコン裏地/テーピングも許可されない。

- ジッパー、ボタン、マジックテープまたは類似品は許可されない。

- アンダーウェアの内側または外側に、ひも、棒、折り目、テープ等を付けることは許可されない。

5.2 アンダーウェアの構成

アンダーウェアは二つのパーツ(Tシャツとパンツ)で構成される。

袖はヒジ上で終わってなければならない。パンツの裾はヒザ上で終わってなければならない。

裾の最大の長さは2cm

襟の最大の長さは7cm(二重の生地も可能)

ショーツのシームのウエスト周りに最大5cm幅のゴムバンドまたはヘムを設けることは許可される。

フードの形状は認められない。

スキージャンプ用アンダーウェアの下に、私用の下着を着用することは認めらる。

- 男性: スリッパ

- 女性: スリッパおよびパッドなしの一般的なスポーツブラ

5.2.1 袖の長さ

シャツの袖の長さは、脇の下縫い目の交点から袖口の端までを測定し、10cmを超えてはならない。縫い目の交点が脇の下真下に位置しない場合は、正確な測定点を定めるために、明確に視認できる印を付けることができる。

5.2.2 ショーツの長さ

ショーツの全長は、ウエストバンドの上端から裾の下端までを側面で測定し、30cmを超えてはならない。

5.2.3 シームおよびスティッチ

シーム(縫い目)は、アンダーウェアの部分を結合するためにのみ存在できる。

すべてのシームは真っ直ぐであるか、または、体の形に合う形状でなければならない。

シームを追加したり、シームを変形させたりすることは許可されない。

5.3 アンダーウェアの生地

スキージャンプ用アンダーウェアは、ツーウェイ伸縮性繊維の生地で作られていなければならない。

アンダーウェアの両ピースの全体に布地を1層だけ使用することが許可される。

アンダーウェアのすべてのパーツの厚さは同じで、1.5 mmを超えてはならない。

アンダーウェアの縫い目、すべての層とパーツを合わせた合計の厚さは 3 mmを超えてはならない。

アンダーウェアの空気透過率は、60 l/m2を超えなければならない。

5.4 バックプロテクター

バックプロテクター1個をTシャツの後ろの下着の中に配置できる。

プロテクターの改造は厳禁とする。

5.2.1 バックプロテクターのサイズ

S	身長 120-140 cm
M	135-155 cm
ML	150-170 cm
L	165-185 cm
XL	180-205 cm

Upper



Lower

6 標準ボディ測定ポイント

6.1 定義および一般規則

競技会に参加するには、選手は以下のボディ計測値を提供する必要がある。

- 身長
- 股下長
- 腕の長さ
- 足のサイズ
- 腕の周囲

一度スキャンされた選手は、手作業による再計測は認められない。

選手が3Dボディスキャンを受けた後、手動での計測は禁止される。

20歳までのジュニア選手は、毎年再計測される。

ただし、(身長、体長の)いずれか大きい方の値のみが考慮される。

測定値は、即時有効となるJWSCを除き、次回の大会から有効。

測定の際は、必ずすべての測定を計測しなければならない。

選手は常にFIS用品コントローラーの指示に従わなければならない。

FIS用品コントローラーの指示に従わない場合は、罰則が科せられる。

カレンダー年内での二重の計測は認められない。

ただし、不規則性があった場合、FIS用品コントローラーは再測定を要求する権利を有する。

競技会中に3Dボディスキャンを行うことはできない。

期限:

2026/27冬季シーズンの3Dボディスキャンは、2026年10月末までに完了しなければならない。

FIS登録選手で負傷中の場合は例外。

2025/26シーズンの3Dボディスキャン測定は、2026年10月末まで有効。

6.2 3Dボディスキャン

3Dボディスキャンは、Scaneca社スキャナーを用いて実施され、以下の計測値を取得する。

- 身長
- 股下長

6.2.1 3Dボディスキャンの手順

- スキャンは、測定コントローラー、医師／医療従事者(認証スタッフ)、および担当コーチまたは保護者(任意)の立ち会いのもとで実施されなければならない。
- スキャン前に、選手は本人確認を行い、同意書に署名しなければならない。
- 選手は、(FISが用意した)標準スリッパを着用しなければならない。
- 長い髪は、耳が見えるように束ねなければならない。
- 医師／医療従事者(認証スタッフ)が、選手の股間周辺および頭部に異常がないか確認する。
- 計測を有利に進めるために選手の身体を操作する行為は、いかなる試みも含め、固く禁じられる。
- 選手は、FIS用品コントローラーおよび医師／医療従事者(認証スタッフ)の指示に常に従わなければならない。

姿勢に関する要件

- 両足は30cm離す。
- 直立姿勢 - 体軸(頭、肩、腰、膝、足首)は一直線上にななければならない。
- 両足は伸ばしたままでなければならない。
- 両腕は完全に伸ばし、指定された支柱を握らなければならない。

6.2.2 股下長

股下長とは、地面から選手の股間周辺までの長さ。
膝の角度は172度(ソフトウェアでは8度)を超えてはならない。

6.2.3 身長

身長とは、地面から頭部の最高点までの長さ。
身長は、身体の様々な基準点を通る計算線を用いて算出される。

6.3 腕長(AL)

直立姿勢で、両腕を胴体から水平に伸ばした状態で測定する。前側では、胸筋と胸郭の間の点(図1参照)から尺骨(前腕の先端にある印の位置、尺骨茎状突起)までの長さを測定する(図2参照)。両腕の長さを測定し、短い方の測定値を記録する。

図

Picture #1

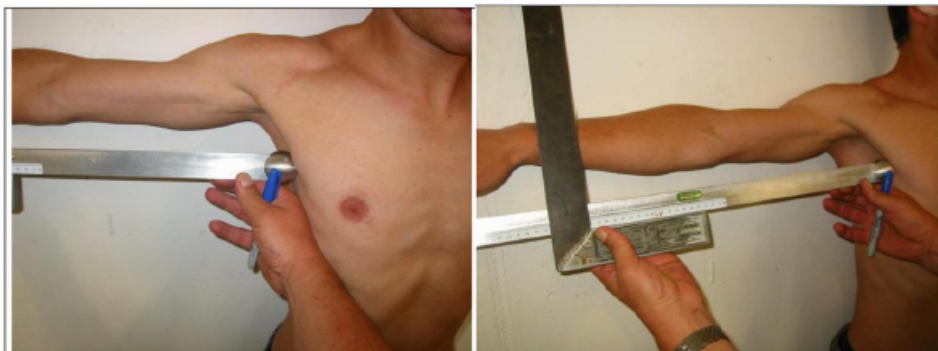
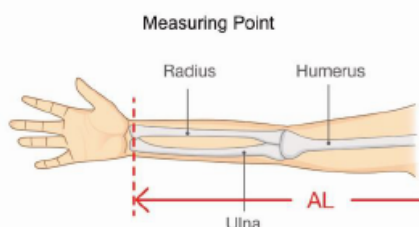


図2

Picture #2



6.4

手首

手首の周囲は、尺骨の末端(尺骨茎状突起)の位置で測定する。

6.54

足のサイズ

足のサイズはFIS足長測定器を用いて測定する。選手は裸足で足長測定器に立ち、足を伸ばすことができる。両足を測定し、大きい方の数値が有効となる。測定精度は0.5cm。

6.65

身長と股下長の手動測定

~~OWG、WSC、SFWSC、ワールドカップ、GP、JWSCでは、手動測定は適用されない。~~

手動測定は、スキージャンプFISカップ、ICOC、ノルディックコンバインドCOCのみ認められる。

選手の身長と股下長はレーザー機器を用いて測定される。

6.65.1

身長:

- 壁に向かってまっすぐ立った状態
- 頭、肩甲骨、臀部、ふくらはぎ、かかとが壁に接している状態
- 両足を30cm離れた状態

6. 65.2

座高:

- テーブルに座り、膝を90度に曲げ、テーブルの端に垂らした状態
- 測定値の四捨五入 - 数学的ルールが適用される。
例: 170.4cmまでは170cm、170.5cm以上は171cmへ
- 股下は、正味値を使用する。171.4cmから89.7cmを引いた値81.7cmを四捨五入して82cmとする。

7. 選手または用品へのセンサーおよび装飾品

7.1 一般規定

選手の身体または用品へのセンサーや装飾品の装着は認められない。

7.2 例外

以下の例外が認められる:

- FISに承認されたセンサー (Swiss Timing社のセンサー)
- 医療用センサー (例: 血糖値センサー、人工内耳など)
- 道具や力なしで身体から取り外すことが出来ないピアス、イヤリング、結婚指輪、またはそれに類する装飾品

7.3 報告義務

すべての医療用センサーは、使用前にFIS公認グループへ報告しなければならない。

8. 医療用補助具 (新規)

8.1 定義

医療用補助具とは、治療または医療上の目的のためだけに選手の身体に装着されるアイテム。これらは、空気力学的、機械的、または競技力向上につながるような利点をもたらしてはならず、また、ジャンプスーツや用品の機能やフィット感を変えるものであってはならない。

医療用補助具には、以下が含まれるが、これらに限定されない。

- 包帯、ブレイス、およびソフト装具 (例: 膝、肘用)

医療用補助具に含まれないもの:

- 空気力学に影響を与えるもの
- 医学的必要性を超えて機械的なサポートを提供するもの
- ジャンプスーツを改造するような付加物
- 競技上の優位性を得る意図で使用されるあらゆるアイテム

8.2 一般的手続き

医療用補助具 (ニーソックス、ベルトなど) の使用には、以下の段階からなる正式な承認プロセスを要する。

8.2.1 書類の提出

選手 (NSA) は、以下を含む関連書類すべてをFISに提出しなければならない。

- 医学的診断
- 医療報告書
- X線画像またはその他の画像
- その他、裏付けとなる追加資料

8.2.2 医事委員会による審査

FIS医事委員会は、提出された医学的情報を評価する。

8.2.3 用品公認 (ホモロゲーション) グループによる評価

公認グループは、当該医療用補助具が用品に関する規定に適合しているか、および不当な優位性をもたらすものではないかを評価する。

8.2.4 公式登録

承認された医療用補助具は、FISデータベース上の当該選手のプロフィールに公式に登録される。

8.3 迅速手続き

急な負傷の場合、迅速な承認手続きが適用されることがある。

情報や決定事項は、FISの公式ルート (例: チームキャプテン会議での告知、公式WhatsAppグループなど) を通じて伝達される。

9. メーカーによる用品部品 (パーツ) のホモロゲーション (公認) (新規)

9.1 定義

メーカーによる用品の公認とは、製造者が特定の構成部品、素材、または製品をFISに提出し、技術的な検証を受ける正式な承認プロセスを指す。メーカーは、当該用具が適用されるFIS規則、寸法制限、素材基準、および安全要件に適合していることを証明する完全な資料、サンプル、および製造仕様書を提出しなければ

ならない。

- 9.2 公認を必要とする用品部品
メーカーは、以下の用品構成部品をFISの公認に提出する必要がある。
- スキージャンプ用ブーツ(移行期間:2026年夏 - 2026/27年冬季シーズンより適用、ワールドカップのみ)
- スキージャンプ用生地(移行期間:2026年夏 - 2026/27年冬季シーズンより適用)
- 9.3 公認(ホモロゲーション)グループ
公認グループは、用品、素材、および技術的開発に関する検査、評価、および承認(公認)を担う技術専門家組織である。同グループは、すべての製品および変更が、適用される技術基準、安全要件、および規則に適合していることを保証する。
- その責務は以下の通り。
- 新規または改良された用品の技術評価
- 技術開発の種類の評価
- 規則適合性の検証
- 公認を受けた製品の資料および承認
- 公認グループは、コーディネーター、用品コントローラー、および用品スペシャリストで構成され、必要に応じて外部のアドバイザーや専門家に相談したり、関与することがある。
- 9.4 制限
FISの公式ステッカーが貼られた公認済みの用品部品のみFIS競技会で使用できる(生地を除く)。
メーカーは、公認モデルのみが製造されることを保証しなければならない。
原則として、公認部品への改造は認められない。例外は、SCEにおいて明確に規定されている。
- 9.5 技術開発の種類
- 9.5.1 新規開発およびさらなる大幅な展開(改良)
これは、全く新しい技術的解決策、製品、またはアイデアを生み出す開発活動、あるいは既存のシステムを、その動作や使用方法に明らかに影響を与える形で変更する開発活動を指す。これらの変更は、用品や競技に大きな影響を与える可能性があるため、担当小委員会および公認グループによる審査と承認がなければならない。
- 9.5.2 さらに展開(改良)／調整
改良および調整には、既存の用品、素材、または技術仕様に対して行われる、動作方法や用途を根本的に変更しないすべての変更、小規模な改良、または更新が含まれる。これらの措置は、既存の規則内で必要な更新、最適化、または修正に重点を置く。
- 用品公認グループは、こうした開発がすべての技術基準および公認要件を満たしていることを確認するため、それらの検証、承認、および監視を行う責任を有する。
- 9.6 手順
- 9.6.1 申請書の提出
メーカーは、以下の内容を含む正式な申請書を提出する。
- 完全な技術仕様書
- 図面、CADデータ、および素材データ
- 機能説明書
- 安全性に関する書類
- 試作品またはサンプル部品
- 9.6.2 事務的事前チェック
公認グループは、以下を確認する。
- 書類の不備がないこと
- 提出期限が遵守されていること

- 適切な分類(新規開発か、改良か)
- 9.6.3 技術文書の検査

提出された書類について、以下に関する分析を行う。

 - 素材特性
 - 寸法、許容差、および構造
 - 既存規則および基準との適合性
 - 安全要件
 - 既に公認されたモデルとの比較
- 9.6.4 実地試験および技術試験

用品の種類に応じて、以下の試験が実施される場合がある。

 - 荷重試験およびストレス試験
 - 機能試験
 - 精密測定(例:剛性、重量、形状)
 - 安全性評価
 - 関連用品との比較
 - 現地性能試験
- 9.6.5. 評価および決定

公認グループは以下を評価する:

 - 試験結果
 - 安全面での考慮
 - 規則への適合性
 - 公平性および競技パフォーマンスへの影響
 - 修正や是正措置の必要性

決定事項の例:

 - 条件付き承認(初年度)
 - 条件付きで公式テスト段階への承認
 - 公認有効
 - 公認不承認(理由の提示)
- 9.6.6. 文書化および公表

承認された場合:

 - 公認番号が発行される
 - 製品が公式公認リストに追加される
 - 小委員会への通知
- 9.6.7. 監視および承認後の管理

公認取得後:

 - 競技会における無作為検査
 - 量産品の一貫性の検証
 - 製品改変の監視
- 9.7 公認の期間および費用

追加試験や研究所での分析が必要な場合は、約2ヶ月以上を要する。
 FIS登録料は1モデルにつき500ユーロ。
 すべての費用(試験、風洞実験、ラボでの分析など)は、メーカーの負担となる。
- 9.8 申請期限
 - 新規開発または大幅な改良: プラニツァでの小委員会会議(シーズン最終イベント)
 - 公認さらた用品部品の調整および改良: 年間を通じて可能
- 9.9 メーカーまたは選手に対する制裁
 - 金銭的制裁
 - 公認の取り消し
- 10.7. クラッシュヘルメット

全てのイベントにおいてクラッシュヘルメットの着用を義務付ける。ヘルメットの形は

、頭の形に合っていないといけない。ヘルメットの外側の表面と頭との間の間隔は、どの位置で測った場合でも7cm以下とする。

FISレースディレクター/コーディネーターの承認がない限り、カメラや固定装置等、ヘルメット表面にいかなるものも取り付けてはならない。
国際FIS競技会で使用されるクラッシュヘルメットは、アルペンスキー競技会用のクラッシュヘルメット(スキージャンプで使用されるクラッシュヘルメット)に適用する基準に準ずる。

基準の順守は、ヘルメットの後部に目に見える位置に取り外し不可能な方法で貼り付けられた、対応する特定の標準化された適合ラベルによって証明される。特にラベルはゴーグルストラップで覆われないようにする。国際FIS競技会で使用されるヘルメットに適用する基準への適合を確認する適合ラベル(ラベル“RH2013”)は、添付資料に示す。メーカーが貼るラベルは、添付(37ページ)に記載される規格に従うものとする。

11 8. スキーゴーグル

スキーゴーグルは、光学的に正しいレンズによって天候や光線から目を保護する装置である。その目的は、あらゆる気象条件下でコントラストのない良好な視認性を保証することである。スキーゴーグルの使用は義務である。

12 9. スキーグローブ

12.1 定義

グローブは、天候や外力に対する保護カバーとして機能する。グローブの着用は全てのイベントにおいて義務である。

12.2 制限

いずれにせよグローブの周りに袖やスーツを固定することは認められない。

12.2.1 構造

グローブは、尺骨の端から肩に向かって7cmで終わる。

グローブはフィンの形でない場合がある。

ミトンは認められない。

指付きグローブ(全指用)のみの使用が認められる。

すべての層を合わせた素材の厚さは、7mmを超えてはならない。

リストストラップやゴムバンドの使用は認められない。

12.2.2 サイズ

グローブのサイズは、手のサイズに一致していなければならない。

12.2.3 シーム

グローブのシーム(縫い目)はグローブの内側になければならない。

縫い目は外側にあってもよいが、それによって表面積が増加してはならない。

D. ゼッケン

- ノルディック: クロスカントリー/スキージャンプ

例: 添付書類参照

2. スキージャンプスタートゼッケンのFIS規格

2.1 広告

FIS広告規則に準じる。

2.2 数字(ナンバー)

FIS広告規則に準じる。

2.3 割り当て(Assignment)

スタートゼッケンは男子のサイズで男子に割り当てられる。

2.4 生地、素材

Tシャツタイプのスタートゼッケンはポリエステル100%で、水圧10mmで40 リットル／m2／秒の通気性を備えている。

2.5 弾力性(ストレッチ)

幅10cmの生地で測定。

幅24cmまで引き伸ばせる。

2.6 シーム、縫製

サイドシーム: 素材は縫い合わせ、縁を縫い、スティッチをかける-かがり縫い。

襟足(ネックライン)と袖ぐり(アームホール)は縁取りして整え、ダブルスティッチをかける。

ウエストバンドは幅2cmのシーム、ダブルスティッチ(添付図参照)

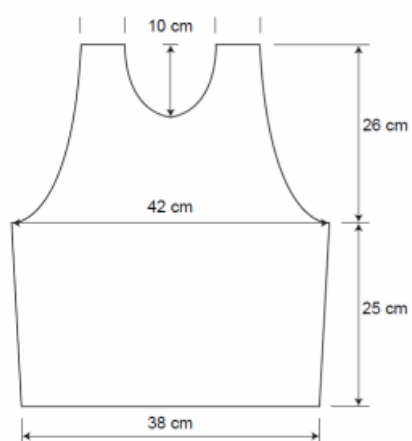
添付資料

スキージャンプ 男子

ゴムバンド無しのサイズ

Ski Jumping Men

Without elastic band

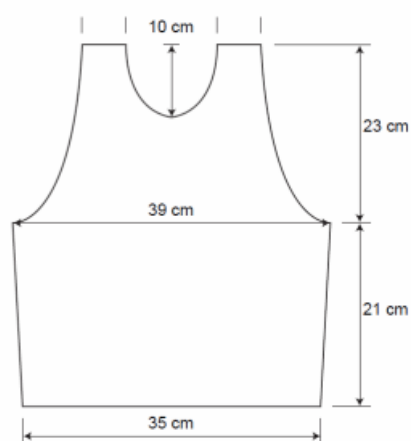


スキージャンプ 女子

ゴムバンド無しのサイズ

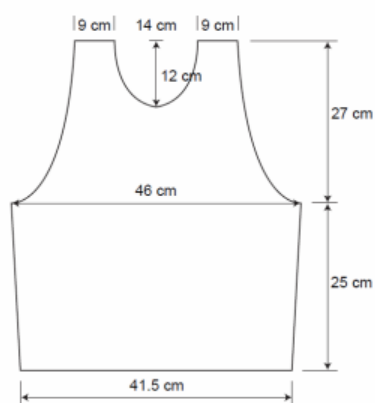
Ski Jumping Women

Without elastic band



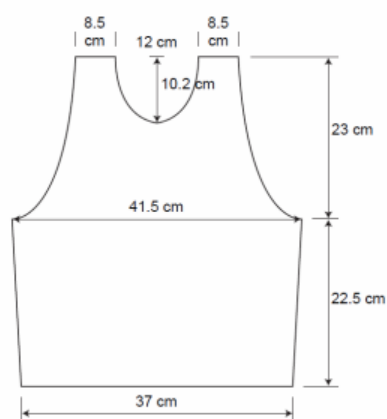
クロスカントリー 男子

Cross-Country Men



クロスカントリー 女子

Cross-Country Women



スキージャンプのビンディング取り付け用サイズ対応表

2010/2011シーズンより

身長/スキー長145%/フロントスキー57%

Measurement table for mounting of Ski Jumping Bindings

Masstabelle für Montage der Skisprungbindung						Masstabelle für Montage der Skisprungbindung					
Measuring table for mounting of jumping bindings						Measuring table for mounting of jumping bindings					
ab Saison 2010/2011 - as from Season 2010/2011						ab Saison 2010/2011 - as from Season 2010/2011					
Body Height Körpergröße	Ski length 145% Skilänge 145%	Front ski = 57% Vorderski = 57%		Body Height Körpergröße	Ski length 145% Skilänge 145%	Front ski = 57% Vorderski = 57%		Body Height Körpergröße	Ski length 145% Skilänge 145%	Front ski = 57% Vorderski = 57%	
cm	cm	cm		cm	cm	cm		cm	cm	cm	
140	203	116		155	225	128			246	140	185
141	204	116		156	226	129		170	247	141	269
	205	117			227	129		171	248	141	186
142	206	117		157	228	130		172	249	142	271
143	207	118		158	229	131			250	143	272
	208	119			230	131		173	251	143	273
144	209	119		159	231	132		174	252	144	274
145	210	120		160	232	132			253	144	275
	211	120		161	233	133		175	254	145	276
146	212	121			234	133		176	255	145	277
147	213	121		162	235	134			256	146	278
	214	122		163	236	135		177	257	146	279
148	215	123			237	135		178	258	147	280
149	216	123		164	238	136			259	148	281
	217	124		165	239	136		179	260	148	282
150	218	124			240	137		180	261	149	283
151	219	125		166	241	137		181	262	149	284
152	220	125		167	242	138			263	150	285
	221	126			243	139		182	264	150	286
153	222	127		168	244	139		183	265	151	287
154	223	127		169	245	140			266	152	288
	224	128						184	267	152	289
											290
											165

スキージャンプのビンディング取り付け用サイズ対応表

ユースカップ

2010/2011シーズンより

身長/スキー長140%/フロントスキー57%

Measurement table for mounting of Ski Jumping Bindings

Jugend Cup - Masstabelle für Skilänge und Bindungsmontage					
Youth Cup - Measuring table for Ski length and mounting of the bindings					
ab Saison 2010/2011 - as from Season 2010/2011					
Body Height Körpergröße	Ski length = 140% Skilänge = 140%	Front ski = 57% Vorderski = 57%	Body Height Körpergröße	Ski length = 140% Skilänge = 140%	Front ski = 57% Vorderski = 57%
cm	cm	cm	cm	cm	cm
125	175	100	156	218	124
126	176	100		219	125
	177	101	157	220	125
127	178	101	158	221	126
128	179	102		222	127
	180	103	159	223	127
129	181	103	160	224	128
130	182	104	161	225	128
131	183	104		226	129
	184	105	162	227	129
132	185	105	163	228	130
133	186	106		229	131
	187	107	164	230	131
134	188	107	165	231	132
135	189	108	166	232	132
136	190	108		233	133
	191	109	167	234	133
137	192	109	168	235	134
138	193	110		236	135
	194	111	169	237	135
139	195	111	170	238	136
140	196	112	171	239	136
141	197	112		240	137
	198	113	172	241	137
142	199	113	173	242	138
143	200	114		243	139
	201	115	174	244	139
144	202	115	175	245	140
145	203	116	176	246	140
146	204	116		247	141
	205	117	177	248	141
147	206	117	178	249	142
148	207	118		250	143
	208	119	179	251	143
149	209	119	180	252	144
150	210	120	181	253	144
151	211	120		254	145
	212	121	182	255	145
152	213	121	183	256	146
153	214	122		257	146
	215	123	184	258	147
154	216	123	185	259	148
155	217	124	186	260	148

ジャンプスキー板

1.2.1.2条 横幅(Profile width)の詳細

L スキーの長さ

A フロントポジションの最大幅=115mm

- b フロントポーション57% (f) の最大幅=105mm
- c テールポーションの最大幅=115mm
- d 先端 (tip) とサイドカット始点間の最大長=300mm
- e テールとサイドカット始点間の最大長=150mm
- f bのコントロールポイント

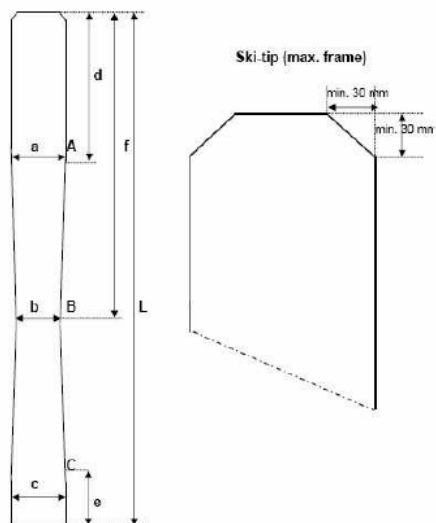
スキーの先端 (最大フレーム)

↔ 最低30mm ⇅ 最低30mm

Jumping Skis

Article 1.2.1.2: Precision of the Profile Width

L	Ski length
a	max. width at front portion = 115 mm
b	max. width at 57% of front portion (f) = 105 mm
c	max. width at tail portion = 115 mm
d	max. length between tip and begin of sidecut = 300 mm
e	max. length between tail and begin of sidecut = 150 mm
f	control point of b



ヘルメットのFIS規格適合証明ラベル

Label attesting conformity with FIS specifications for helmets.



Minimum Width : **10 Mm**

Minimum height : **15 Mm**

最低幅: 10mm

最低高: 15mm

スキー長さ、体重、BMI21の測定表 身長/体重/スキー長

(* 訳注: BMI21.000 145% 1ランク ~ BMI16.000 125% 41ランク)

		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13		14		15		16		17		18		19		20		21		22		23		24		25		26		27		28		29		30		31		32		33		34		35		36		37		38		39		40		41		42		43		44		45		46		47		48		49		50		51		52		53		54		55		56		57		58		59		60		61		62		63		64		65		66		67		68		69		70		71		72		73		74		75		76		77		78		79		80		81		82		83		84		85		86		87		88		89		90		91		92		93		94		95		96		97		98		99		100		101		102		103		104		105		106		107		108		109		110		111		112		113		114		115		116		117		118		119		120		121		122		123		124		125		126		127		128		129		130		131		132		133		134		135		136		137		138		139		140		141		142		143		144		145		146		147		148		149		150		151		152		153		154		155		156		157		158		159		160		161		162		163		164		165		166		167		168		169		170		171		172		173		174		175		176		177		178		179		180		181		182		183		184		185		186		187		188		189		190		191		192		193		194		195		196		197		198		199		200		201		202		203		204		205		206		207		208		209		210		211		212		213		214		215		216		217		218		219		220		221		222		223		224		225		226		227		228		229		230		231		232		233		234		235		236		237		238		239		240		241		242		243		244		245		246		247		248		249		250		251		252		253		254		255		256		257		258		259		260		261		262		263		264		265		266		267		268		269		270		271		272		273		274		275		276		277		278		279		280		281		282		283		284		285		286		287		288		289		290		291		292		293		294		295		296		297		298		299		300		301		302		303		304		305		306		307		308		309		310		311		312		313		314		315		316		317		318		319		320		321		322		323		324		325		326		327		328		329		330		331		332		333		334		335		336		337		338		339		340		341		342		343		344		345		346		347		348		349		350		351		352		353		354		355		356		357		358		359		360		361		362		363		364		365		366		367		368		369		370		371		372		373		374		375		376		377		378		379		380		381		382		383		384		385		386		387		388		389		390		391		392		393		394		395		396		397		398		399		400		401		402		403		404		405		406		407		408		409		410		411		412		413		414		415		416		417		418		419		420		421		422		423		424		425		426		427		428		429		430		431		432		433		434		435		436		437		438		439		440		441		442		443		444		445		446		447		448		449		450		451		452		453		454		455		456		457		458		459		460		461		462		463		464		465		466		467		468		469		470		471		472		473		474		475		476		477		478		479		480		481		482		483		484		485		486		487		488		489		490		491		492		493		494		495		496		497		498		499		500	
--	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
2	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200
3	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300
4	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400
5	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500
6	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600
7	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700
8	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800
9	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900
10	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000